



Vol.10

宮崎学園短期大学

忍ヶ丘



Shinobugaoka
2018

Contents

◆学長所感

私が20歳の時、知っておきたかったこと
失敗を隠すより、失敗から学べ。

学長 宗和 太郎 …… 1

◆【特集】地域に愛され、地域と共に歩み続ける。

2

◆「もう一度学びたい。」

7

◆学科・専攻科の一年間の取り組み

【保育科】

「学びを重ねていく」ということ

保育科 学科長 中武 亮子 …… 8

学生の成長を実感できる実習報告会

保育実習主任 久松 尚美 …… 8

実習報告会を終えて 2年B組 甲斐千亜利 …… 8

「家庭支援論」保護者を支援すること

保育科 准教授 木村 匡登 …… 9

「家庭支援論」を学んで 2年C組 古澤 樹 …… 9

「器楽」の授業 保育科 講師 東 真美子 …… 9

「器楽」の授業を通して学んだこと

2年D組 安藤 園華 …… 10

「保育実践力の向上を目指して」

保育科 講師 大石 祥寛 …… 10

模擬保育で感じたこと

2年E組 岡戸 望紗 …… 10

【卒業生からのメッセージ】

学校法人メノナイト学園 油津恵愛幼稚園

平成28年度卒 保育士 松元 南 …… 11

学校法人富高学園 富高幼稚園

平成28年度卒 幼稚園教諭 中丸 真実 …… 11

社会福祉法人 愛育福祉会 児童養護施設みどり学園

平成28年度専攻科修了 中村 文映 …… 12

【第10回保育フェスティバル】

1年F組 後田奈津美 …… 12

2年C組 西田 朱里 …… 12

専攻科(福祉専攻) 田中 朋花 …… 13

【現代ビジネス科】

「自分作り」

現代ビジネス科長 久保 良一 …… 14

平成29年度 資格取得状況一覧 …… 15

【ビジネスコース】

企業実習での学び 1年 結城 里咲 …… 16

2年生に向けての抱負 1年 小坂 真由 …… 16

図書館実習について 2年 紺一向夏海 …… 16

2年間を振り返って 2年 長友 玲奈 …… 17

【卒業生からのメッセージ】

株式会社アメニティー・エクスプレス

平成28年度卒 川崎 優希 …… 17

【医療事務・医療秘書コース】

1年を振り返って 1年 大久保美咲 …… 18

実習での学び 2年 上田 沙織 …… 18

社会人に向けての抱負 2年 椎葉 萌衣 …… 18

【卒業生からのメッセージ】

医療法人啓仁会城南病院

平成28年度卒 中村綾希子 …… 19

【専攻科(福祉専攻)】

専攻科(福祉専攻)主任 花畑 明美 …… 20

平成22年3月専攻科修了 今門千賀子 …… 20

平成25年3月専攻科修了 沖野 文香 …… 20

平成29年3月専攻科修了 竹尾 礼可 …… 21

◆地域交流研究センター活動報告

センターの活動状況と課題解決型ボランティアの取組

地域交流研究センター委員長 有嶋 誠 …… 22

一般ボランティアの活動状況と参加学生の体験感想

地域交流研究センター委員 湯川 洋久 …… 23

黒木 典子 …… 23

一般ボランティアに参加して

専攻科 黒木 翔太 …… 23

◆平成29年度 宮崎学園短期大学市民講座

シニアいきいきセミナー

生涯学習推進委員会 委員長 花畑 明美 …… 24

子育て支援セミナー

生涯学習推進委員 三宅 浩子 …… 24

ニューライフ・アカデミー

生涯学習推進委員会 委員長 花畑 明美 …… 25

◆平成29年度 宮崎学園短期大学保育研修会

保育研修会担当 中武 亮子 …… 26

◆教員免許状更新講習

教務部長 原田 真理 …… 26

◆保育士資格取得特例講座

…… 27

◆短大生活365日

【学友会活動】 …… 28

【「宮短フォト575」に挑戦】 …… 30

【サークル活動】

文芸・漫画研究会 部長 矢野 玲奈 …… 31

陽だまり部 部長 長友 玲奈 …… 31

ヨガサークル 部長 巽 翔大 …… 31

合唱サークル 部長 矢田 嵩 …… 31

YSPサークル 部長 河野 豊輝 …… 31

◆新教職員紹介

保育科 三宅 浩子 …… 32

保育科 黒木 典子 …… 32

保育科 矢田憲太郎 …… 32

保育科 湯川 洋久 …… 32

保育科 園田 和江 …… 33

専攻科 桑迫 信子 …… 33

保育科 大石 祥寛 …… 33

現代ビジネス科 柿木 大和 …… 33

現代ビジネス科 野口 翔平 …… 34

総務課 湯地 寿 …… 34

総務課 波江野祥代 …… 34

教務課 森崎麻衣子 …… 34

◆平成29年度 就職状況中間報告

就職指導課 …… 35

◆平成29年度 オープンキャンパス報告

◆平成31年度 入試日程

◆しのぶ会だより

…… 39

学長所感

私が20歳の時、知っておきたかったこと

失敗を隠すより、

失敗から学べ

学長 宗和 太郎



■失敗を隠す文化

「失敗があつてはならない」という言葉は、大きな行事に際して、あるいは人生の大きな選択において使われる。沢山の

の人に迷惑をかけないように、あるいは自分の将来に大きな禍根を残さないために、念には念を入れて準備することだろ

う。もちろんそれは正しいことだが、もとより完璧でない人間にとって完全はあり得ない。

別の言い方をすれば、失敗は避けられないことである。失敗しないように努力することは大切だが、同じく、いやそれ以上に失敗に正しく対処することが大切である。「失敗しないように」の価値観が偏重されると、失敗は隠されてしまい、失敗から学んで成長することの大切さが見失われてしまうからだ。

学んで成長するという点において、成功も失敗も教訓としては等価値である。「こうすればうまくいく」「こうしたら失敗する」どちらも大切な教訓なのである。

しかし我々の文化の中には、失敗を恥とし、失敗を隠して学ぶことがなごびりにされる傾向があるように思う。失敗を隠して

も、失敗の度に「うまくいかなかった自分の歴史」は積み重ねられていく。悪運を嘆き、非才を嘆き、劣等感が蓄積される一方、失敗から学ばない自分は止まっている。

■リセットのチャンス

我々の文化には有り難いことに、「リセット」の思想がある。毎年、新年を新たな気持ちで迎え、新たな志を立てる。いつまでも過去を引きずらずに、リセットできるのは有り難いと思う。

善人になりたいと思つても、過去の自分の悪行の数々を思い浮かべたら、無理と思うしかない。悔い改めることで、進歩は生まれる。安井息軒は、志を立てるチャンスとして「三計の教え」に朝と春と少壯の時を挙げた。チャンスに遅すぎるといふことはない。何か良いことを始めようとするのに年や月、週の初めなどの節目はリセットのチャンスである。あとは本人のやる気・勇氣・根気である。

■「どうせダメ」のリセット

やる気を出す上で、足を引っ張るのが自分の「劣等感」である。「自分は頭が悪い」「才能が無い」「努力ができない」「環境が悪い」といふ「決めつけ」を抱えている。

なかなか人は褒めてくれないし、自分の失敗は傷となって残つていたりする。人生で、自分に自信をもたらず成功事例より、自分のダメさ加減を示す失敗事例の方が遙かに多く心に刻まれている。「何にもしない方がまし」という思い込みも少なくないかもしれない。

本当は「ある程度できて」いても、「よりできる人」が必ずいるから、相對評価の中ではないつも「できない」に分類されてしまっ

たのである。

絶対評価で見てもいい。赤ちゃんの時から比べて今「できるもの」を挙げれば限りなく多いはずである。生活の中にある様々な経験からなにかの学びを受け取り、成長している。一昨年から去年、少し長いスパンで見れば自分の成長に気づくはずである。人生は長い。努力は裏切らない。一歩踏み出す「やる気」を出そう。結果は付いてくる。

■やる気・勇氣・根気

三日坊主はどこから来るか。毎年、新年の抱負を立てたはずなのに長続きしたことがないと自慢のように言う人がいる。夏休みの宿題、毎年早くやっしまおうと思つたのに仕上がったためしがない。しまいいは目標を立てることすらしなくなる。

根本は、三日坊主の失敗にメスが入れられていないからである。やる気のなさに逃げたしまい、失敗から「やる気の出る目標」「続けられる計画」の反省につなげられなかった失敗である。つまりは面倒くさがりで、やる気はあつても、勇氣、根気が足りない。

失敗一つ一つには、学ぶべきことが必ず一つ一つある。その学びが成長である。失敗一つ一つから学ぶことを忘れて、成功が宝くじのようにやってくることを夢想しても、未来は開けない。発明王エジソンは99回の失敗の次に成功を勝ち取った。それは幸運の確率では無く、99の失敗からの学びに支えられて成功が生まれたことを物語っている。

失敗から学ぶことは、惨めでささやかかもしれないが、その蓄積の上にしか人間の成長はない。根気が大切である。

地域に愛され、 地域と共に 歩み続ける。



宮崎学園短期大学は、昭和40年、前身の宮崎女子短期大学として開学しました。初年度は保育科のみの単科大学。第一期卒業生は110名でした。

それから53年。卒業生・修了生の数は19,930名に上ります。卒業生・修了生の数が増えるにつれ、その兄弟姉妹やお子さんが入学されるケースも増え、最近ではお孫さんまで、3代続けての入学も見られるようになりました。

これからも皆様に信頼され、愛される短大であり続けるために精進してまいります。

私は、小さい頃からの夢である幼稚園教諭になるべく、本学に入学した。高校の友達とも別れ、悲しい思いを味わいつつも新しい出会いを楽しみにしていた。短大生活に多少不安があったが、今では仲間もたくさんでき、楽しい短大生活を送っている。実習を体験し、本当に夢を叶えることができるのか...と思ふこともあったが、自分でやりたいと決めた事だから、最後までやり遂げなければ格好悪いと思った。先生方のご指導があり、



保育科1年
山田 萌々子(左)
母・保育科卒業
山田 ゆづ子(右)

仲間との支え合いがあり、それが自分の力となっている。まだまだ実習は続き大変である。しかし、夢を決めたきっかけである憧れの先生に、次は私がなれるよう、必ず夢を叶えたい。

【山田 萌々子】

昨年何十年ぶりだろう。娘の受験の引率で美人坂を登った。といつても車で走ったのだが。当時私がまだ若く初初しかった頃の美人坂がそのままの風景で目に入ってきた事が懐かしくもあり嬉しくもあり。娘は受験の緊張でピリツとしているのに、横で一人少々浮かれていた事を思い出す。少し違っていたのは、清武駅から学校まで送迎バスが出ていたので美人坂を歩くことはほとんどないらしい。私は卒業して結婚するまでは、福祉施設で介護の仕事させていただいた。娘は幼稚園の先生という小さい頃からの夢を叶えるべく頑張っている。その昔、私の母が今の私と同じように毎日早朝からお弁当を作り送り出してくれた事に感謝し、あと一年しつかりサポートしていきたいと思う。

【山田 ゆづ子】

保育科 1年
伊地知 育未(右)
母・初等教育科卒業
伊地知 直美(左)



くさんのスキルを習得し、それを生かして地域に貢献できる保育士を目指しています。

【伊地知 育未】

私は短大時代、忍ヶ丘寮に2年間入寮していました。親元を離れて寮に入りはじめは寂しく涙を流すこともありましたが、みんなが優しく接してくれたのですぐに慣れることができました。毎日楽しく過ごし、テスト前にはみんなで部屋に集まって夜遅くまでテスト勉強をしたのも今ではいい思い出です。今でもそのときの友達と交流があり、いろんな思い出話をするがあります。とても貴重な時間をこの短大で過ごすことが出来てよかったです。娘が私と同じ短大に通うことになり、学校での話を聞いたりすると私もあの頃の気持ちを思い出して嬉しくなります。娘も短大生活の中でかけがえない友達や、楽しい思い出を作って欲しいと思います。

【伊地知 直美】

私は中学生の頃からこの短大に入学したいと思っていました。理由は母からよく学生時代の話聞いており、保育士になるために必要なことが学べるということもあって、保育士を目指す自分にぴったりと考えていたからです。高校生になってからは、オープンキャンパスに何度も足を運ぶことで、この学校に通いたいという意思が固まりました。そして本学に入学することができ、現在夢を実現するために充実した毎日を送っています。た

保育科 1年
矢田部 智佳(右)
母・保育科卒業
矢田部 みさき(左)



励み、資格・免許を取得し、卒業後は保育士として子ども達とその保護者の方々に支援していきたいと思っています。

【矢田部 智佳】

私が貴学に入学したのは、数十年前ですが熱心なご教授のおかげで、現在も保育園に勤務し、充実した日々を送っています。現在、施設も大きく立派になり、より多くの学生さんが勉学に励んでいる中に、保育科一年生として娘がお世話になっていきます。娘には娘の人生があるのだからと保育士になるよう押しつけた事はありませんが、身内に保育士が多かったり(祖母・おば三人・母)、物心つく前から保育園で過ごした環境もあり、保・小・中・高・短大まで母と同じ進路をたどり、順調にいけば同じ保育士になれるそうです。なので、今は我が子ながら良い選択をしたとほめ、残りの学生生活を有意義に過ごすよう応援しています。

【矢田部 みさき】

私は保育士資格と幼稚園教諭二種免許が取得できると聞いて、宮崎学園短期大学への入学を決めました。建学の精神「礼節・勤労」の通り、様々な場面において礼節の指導が行き届いており、日々の生活で自分の服装や立ち居振る舞いを意識し、適切かどうか気をつけるようになりました。また、実習前には丁寧な事前指導もあり、実習での明確な目標を立てると共に、とても有意義な実習を終えることができました。これからも勉学に



保育科 1年
姉・保育科卒業

川野 幸奈(右)

川野 美南(左)



私が本学を選んだ理由は、姉が通っていたこともあり、充実した学校生活を送れることを聞いていたからです。また、卒業と同時に保育士の資格と幼稚園教諭の免許を両方取得できるところにも魅力を感じました。

短大に入学して、既に1年が経ちました。本学で自分が目指す保育教諭の知識や技術を学友と学び、充実した学生生活を送っています。行事への参加もクラスでまとまり、楽しく過ご

すことができている。残り1年という短い期間ですが、目標に向かって努力していきたいです。

【川野 幸奈】

私の短大の思い出は2つあります。1つは「秋の忍ヶ丘祭」で学友と共に取組んだことです。模擬店では綿菓子を作り、舞台ではダンスを披露しました。学生時代にしかできない経験だったように思います。

楽しい思い出ばかりではなく、私にとって大変だったけれど実になったもう一つの思い出が「実習での学び」でした。特に日誌の記入に時間がかかり、気力、体力ともにギリギリでの毎日でした。けれど、実習指導をしてくださった先生方の懇切丁寧な助言、指導を頂き、子どもへの関わりから記録の大切さまで、多くの実践力を身につけることができました。

このことは、今、保育現場でもとても役立っていると感じております。妹にもそのような楽しいこと、苦しくても頑張ること、を大学で、たくさん経験してほしいと思います。

【川野 美南】

保育科 1年

楠本 夏香(左)

姉・保育科卒業

楠本 剣美(右)

母・保育科卒業

楠本 弘子(中央)



入学当初は友達もできないと不安で泣き出しそうでしたが、一週間もするとクラスメイトと話せるようになり、学校生活が楽しくなりました。保育士を目指し入学しましたが、座学や実習等で自分に向いているか不安になりました。しかし、基本実習最終日に主任の先生の言葉を聞き、向いているかどうかを決

めるのはまだ先にして頑張ってみようと思えました。あと一年後には社会人になり、現場で働き始めています。その際、即戦力になれるくらい、今、学校や実習での学びをしっかりしていこうと思います。そして、自分の目指す保育士に少しでも早くなれるように一生懸命、頑張っています。

短大での一番の思い出は、明るく楽しく同じ夢に向かう学友、授業や実習で困った時、分からない事を素直に聞ける雰囲気、親密に対応してくださった素敵な先生方、そしてサークルを通じて他学科の学友とも出会えた事です。沢山の知識を楽しく修得できた授業は勿論のことです。卒業後も、仕事の悩み相談に快く応じてくださる心強い先生方がいらつしやる素敵な我が母校。今、保育士を目指し学友と共に笑い合い頑張っている妹にも沢山の思い出を作つて欲しいと願っています。

【楠本 夏香】

【楠本 剣美】

毎朝、清武駅から美人坂を上り、帰りはバス停へ急ぎ楽しく賑やかに通学した日々。あれから42年、変わらずにこの地に在

る母校に我が娘が二人ともお世話になるのは!!木造のピアノ教室、学友会室のガリ板・輪転機・学食等懐かしく思い出されます。現在素晴らしい整備された中にも揺るぎない校風を感じます。一年後には娘も社会人。即現場で活躍できる人材となるよう様々な事に挑戦し学び、地元で活躍し始める日を楽しみにしています。

【楠本 弘子】



現代ビジネス科
ビジネスコース 2年
石井 聡美(左)
母・初等教育科卒業
石井 美貴(右)

私は、高校卒業後の進学先を決める際に、県内への高い就職率を誇っている本学を希望しました。入学後は学外へ出ての活動もあり、礼節・勤労といった精神面でも成長することができたと感じます。また、県内で就職することを目標とし、友人や先生方の力を借りながら、無事に就職活動を終えることができました。目標に向けて、環境の整った場所で努力できたことにとっても感謝しています。

【石井 聡美】

毎朝、スマホを片手にパンツの裾をはためかせながら家を出る娘を見ていると、時代も変わったものだとつくづく感じます。

私が学生だった当時、1学年が300人を超える学生のすべてが女子、服装はスカートのみ。学園内には、常に乙女の声とピアノの音色が聞こえる華やいだ雰囲気だったことを思い出します。

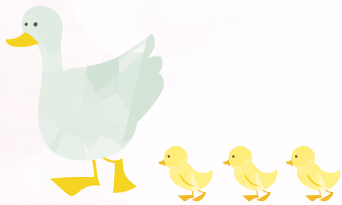
短い短大生活で、教育実習に追われ、厳しい就職試験に立ち向かう中で、いつも周りには同じ夢を持つ友人達がいて、相談

できる先生方がいてくださいました。

卒業後、母となった今も仕事が続けられているのは、あの時の頑張りだったと思いたいです。娘も、将来は県内での就職を希望し、本県での長年にわたる女子教育の実績と、卒業生の県内での就職率の高さから宮崎学園短期大学を進学先に選びました。友人、先生方に恵まれ、就職活動を無事に乗り切ることができ、親子ともども安堵しています。

これから社会人として、責任ある行動をとることは当然のこと、短大で得た「礼節・勤労」の精神を忘れず、自信をもって前に進んでほしいと思っています。私は、母としてこれからも応援をしてまいります。

【石井 美貴】



現代ビジネス科
ビジネスコース 1年
佐原 美紗里(右)
母・国文科卒業
佐原 美紀子(左)



私が宮崎学園短期大学を選んだのは、母の勧めがあったからです。

私は現代ビジネス科ビジネスコースに在籍しています。ビジネスコースでは、ビジネスマナーやビジネスの実践をしっかりと学ぶことができます。さらに、パソコンに関する授業では、現代に必要な技術や知識を身につけることもできます。私はパソコンをすることが好きですが、もっとコンピュータに強くなりたいと思います、このコースを選び

ました。また、ビジネスコースの選択では、司書の資格が取得できます。母が司書を持っていくこともあり、私も司書資格の取得を目指しています。今は、ボランティア、学校行事、検定といういろいろな活動を行っていて忙しい部分もありますが、とても充実した学生生活を送っています。

私は、自分の夢がまだ定まっていません。しかし、この現代ビジネス科ビジネスコースで沢山のことを学んでいきたいと思っています。ビジネスの現場では、積極性が必要で、大切だからこそ、様々な活動を通して、成長できるように、日々精進したいと思います。それができるのは、この宮崎学園短期大学現代ビジネス科だと信じています。この二年間を自分の夢のために頑張りたいです。

【佐原 美紗里】

学生時代の思い出

私は、二十数年前宮崎女子短期大学国文科に通っていました。現在の宮崎学園短期大学です。その頃の学科は、国文科、保育科、音楽科、英語科がありました。二年間、通称美人坂の中野の坂を歩いて通学していました。

国文科での学校生活は、検定

と図書館実習に追われていました。とても充実した毎日を送っていました。講義では、宗和太郎先生の「教育学」の講話が面白くて時間が経つのを忘れたのを覚えています。演習では、「源氏物語」に出会いました。

原田真理先生の講義では、「光源氏」の世界に魅了されました。日本文学、近代文学を学ぶうえで図書に携わる事が多くなりまして。その事もあり、図書館で勉強をしている時に司書の仕事に興味を待ちました。

担任の後藤多津子先生の勧めもあり、図書館司書になる決意をしました。それからは、学校の単位を取れるものはすべて取る様にしました。一日中、学校で講義を受ける事にはなりませんが、出来る事は全てやる様にしました。悔いの無い学校生活を送りました。その努力の甲斐あり、司書になる事が出来ました。宮崎学園図書館は私の元職場です。宮崎学園短期大学には、尊敬できる先生方と信頼できる職員の方がいらつしやいます。宮崎学園短期大学で夢を叶えてください。

【佐原 美紀子】

現代ビジネス科 医療事務
・医療秘書コース 1年
谷口 りか子(右)
姉・専攻科(福祉専攻)
谷口 和香奈(左)



姉が宮崎学園短期大学へ入学して、毎日楽しそうに過ごしているのを見てとても良いなと思いい、私もそのような大学生活を送りたいと考え、本学に入学しました。私は姉と同じ科ではありませんが、姉は礼節や勤務などの授業を一年生の時に受けているので、「こういう事をしたよ」など教えてくれ、大学に関する様々な話をすることが出来ます。入学してからは、検定がたくさんあり大変ですが、姉と同じ

ように楽しい大学生活を送れているのでとても充実しています。医療については覚える事がたくさんあって少し大変な時もありますが、どんな職場に行っても必要とされ、頼られる医療秘書になる為にこれからも頑張りたいです。

【谷口 りか子】

私は、保育士になる夢を叶えるために本学に入学しました。今、振り返ってみると、やはり実習が一番の思い出です。毎日の日誌などとても大変でしたが、同じ実習生のメンバーと連絡を取り合いながら、支え合い乗り切ることができました。この宮短での3年間で出会えた友人達や、親身になって御指導くださった先生方本当にありがとうございました。

また昨年度は、妹が現代ビジネス科に入学してきました。情報交換などの何気ない会話が增え、行事が終わった後に楽しかったと聞くと、こちらも嬉しい気分になりました。今後もお互い自分の夢に向かって励まし合いながら、協力し合えればいいなと思っています。姉妹揃って本学で学ばせてくれた両親にも、心から感謝しています。

【谷口 和香奈】

「もう一度学びたい。」

「資格を取ってキャリアアップしたい。」
社会人も積極的に受け入れています。



宮崎学園短期大学に入学する前は美容師として働いていました。結婚を機に、主人の両親が運営している保育園を手伝う為には資格があった方が良くという勧めもあり、子どもがまだ一歳でしたが、思い切って入学を決意しました。実習では、現場でしか経験できない子ども達の発達や保育者の対応を学び、保育には沢山の配慮がある事、自分も我が子も助けられている事を強く感じました。若いみんなと共に、30代の私が勉強していけるか不安もありましたが、先生方や友人、家族に支えられ、貴重な時間を過ごせた事に感謝の気持ちでいっぱいです。卒業後は、これまで本学で学んだ知識や技能を活かし、子どもにも優しく、そして子育てしながら働く保護者の気持ちを理解できる保育者として頑張っていきたいです。



保育科 2年
首藤 南

私は二十歳で社会人として働き始めました。学生の頃に保育士になりたいという思いがありました。が、別の道に進みました。その後結婚し子どもが生まれ毎日少しずつ成長する子どもの姿に感動し、再び保育士になりたいと思うようになり本学で勉強する事にしました。本学では、幼児教育の基礎だけではなく、保育士の心構えなど様々な事を学ぶことができました。また実習に向けての事前指導や、実習後の反省や共有など、本学でしか学ぶ事ができない事も多く、全て私の財産となりました。今後は、子育てをしながら働く親として、子どもを育てる保育士として、保護者支援もしっかり行える保育士を目指します。これから出会う子ども達や、保護者の方がより良い子育てができるように、この本学で学んだ数多くの学びを生かしていけるよう精進して行こうと思います。



保育科 2年
鎌田 彩香

私には子どもの時から2つの夢がありました。一つは、語学を生かした職に就くことと、もう一つは、保育士になることでした。留学をきっかけに語学を生かした職に就き、これまで働いてきました。夢であった保育士の勉強をすることを決心しました。短大に入学して思ったことは、保育の専門性の高さ、保育士の仕事の責任の重さでした。実習等で子ども達と触れあうことはとても楽しく充実したのですが、同様に学ぶことの大切さも実感しています。短大では、ピアノなどの実技を始め、様々な保育に関する講義を受けています。学ぶことは多いですが、どの授業も興味深く意欲を持って取り組んでいます。将来は、子ども達に信頼される先生になって、幼児教育に携わっていきたいと考えています。



保育科 1年
瀬岡 えり子

学科・専攻科の一年間の取り組み

保育科

「学びを重ねていく」ということ

保育科 学科長

中武 亮子



この1年間、保育科生、専攻科生共に自分の目標に向かって頑張

ってきました。それぞれに課題があり、壁にぶつかるとも少なくなかったと思いますが、過ぎてみると「どんな体験から様々な学びがある」ということを感じられたら嬉しく思います。その中でも貴重な体験が、『様々な人との出会い』ではないかと考えます。自分を知り、自分と違う考えを持った多くの人に出会い、様々な人と共に生

の実習となります。その実習を終えた後、自らの実習体験を報告する試みを、昨年度より始めました。

きていく体験は、保育・教育・福祉の道に進む学生たちにとって特に大切な学びとなるでしょう。体験あるところに学びがあり、その学びがその人を作っていきます。学生たちが、この1年学びを重ねた自分に自信を持って次のステージに進み、さらに学んでいくことを心から願ひ、応援したいと思えます。

学生の成長を実感できる実習報告会

保育実習主任

久松 尚美



保育科の学生は、資格・免許取得を目指し2年間で多くの実習を経験します。その中でも、2年

次の秋に行う2回目の保育所実習は、これまで積み重ねてきた知識や実践力を発揮する集大成

2年生は報告会に向けて準備をする中で、自らの実習を振り返る機会を得、さらに他学生の報告を聴講することで新たな知識や視点を獲得し、残りの学生生活や就職してからの新たな課題を得ることにつながっています。1年生にとっては、先輩の実習報告を聴講することで実習内容を理解し、これから迎える実習の目標設定や、実習までに準備すべきことが明確となります。また、得た知識を自分の実習に生かす意欲となり、実習に対する不安軽減につながっていると感じています。

昨年度は1年生として聴講していた学生が、今年は堂々と自らの実習報告を行う姿を目の当たりにすると、この2年間での学生の成長が実感でき、喜びもひとしおです。

2年生はこれから就職し、保育者として活かす日が来ることを、そして1年生は、先輩からの学びや想いを受け継いでこれから迎える実習に臨み、学びを深めてくれることを願っています。

実習報告会を終えて

保育科 2年B組

甲斐 千亜利



昨年に引き続き、今年度も実習報告会が行なわれました。

昨年度は先輩方の報告を聴き、実習への期待を持ちつつも、自分もやり遂げることができるようだろうかと不安で胸がいっぱいだったことを思い出します。今年度は私達が伝える立場となりました。1年前の不安や緊張を経験しているからこそ、1年生に伝えたいことや思いはたくさんありました。分かりやすく、少しでも不安が無くなるよう伝えるため、研究保育で使った物を実際に見せながら発表したり、事前準備はどのようにしたかなどを詳しく話したりと、それぞれが工夫して発表することができました。1年生も真剣に記録を取ったり積極的に質問したりと、実習に対するやる気を感じられました。これから実習に臨

むにあたり、とても良い刺激になったのではないかと思います。また、2年生の私達もお互いに報告しあうことで、多くのことを学ぶことができました。改めて2年間の全ての実習は、私達にとって大きく成長できるものであったと感じることができました。今回の報告会で得たものや課題を大切に、今後の残り少ない学生生活を充実させ、卒業後は保育者として頑張っていきます。

「家庭支援論」

保護者を支援すること

保育科 准教授

木村 匡登



本科目は、社会ニーズの要請もあり2001年に新たに設定された

科目です。

文字通り、「家庭を支援すること」に必要な知識を学ぶ事にあります。法律や制度、諸サービス、支援の方法やあり方を

具体的に幅広く学びます。また、関連する科目に「社会福祉論」「児童家庭福祉」(講義)「相談援助」「保育相談支援」(演習)が体系付けられ、保育所保育指針第7章を本科目は具体的に学ぶ事にあります。

昨今の子どもを取り巻く環境は、多くのマスメディアが取り上げるように、子どもの悲劇が絶えません。国連の掲げる「子どもの権利」、子どもの「安心」「安全」のためにも子どもとその家庭への支援は欠かせません。学生には、保育者として専門職の価値と、高い使命感をもった実践者になってほしいものです。

「家庭支援論」を学んで

保育科 2年C組

古澤 樹



私は「家庭支援論」という授業を受講して子どもとの関わりはものすごく、保護者の方とのかかわ

りや支援が大切であると学ぶことが出来ました。

保護者の方としっかりと連携することで、子育ての不安や気がかりに、いち早く気づくことができ、その不安や気がかりを軽減していくことが可能ではないかと思いました。保護者の気持ちを受け留め、保護者自身が頑張っていることや努力していることを認めることで理解が深まり信頼関係を築くことができると学び、直接助言などをするのではなく認めるということも支援の一つであると感じました。実習に参加した際、保育者の方々が保護者の方と家庭での子どもの様子などを話しているのを見ました。こうすることで保護者と子どもの心の拠り所となるのだなど実際に経験して思いました。



将来、自分が保育者になるにあたって子どもだけでなく保護者とかかわりや支えることを大切にしていきたいと思えます。

「器楽」の授業

保育科 講師

東 真美子



「器楽」の授業では、学生が保育者として必要なスキルのひとつである『子どもの歌』のレパートリーを増やし、保育現場で活用できるようにすることを目標として、マンツーマンレッスン及び、グループレッスンを行なっています。また、『バイエル教則本』を使用し、ピアノの基礎技術の習得も目指しています。

ここ数年、本学に入学して来る学生の約半数はピアノ初心者です。また、入学前相談では、「ピアノを弾いたことがないけれど保育者を目指せますか」というご質問もあります。ですが、入学して来た学生は本当に努力を惜しみませんし、私たち十八人のピアノ講師も、そんな学生の夢実現をサポートするため、熱心に指導しています。その結果、片手でも弾くのが難しかった

た学生が卒業時には両手で弾き歌いができるようになります。これからも、ピアノや音楽の好きな保育者を育てていきたいと思えます。

「器楽」の授業を通して学んだこと

保育科 2年D組

安藤 園華



私はピアノ初心者で、入学したての頃は楽譜を読むのも難しい程でした。しかし、器楽では先生方が一人ひとりの進み具合に応じて分かり易く丁寧に指導して下さいます。

普段の授業では、個人レッスンとグループレッスンがあり、特にグループレッスンでは仲間達と励まし合いながら力をつけることができます。そして子どもの歌は弾くだけでなく、弾き歌いを学ぶことができるので、保育の現場で子どもたちと一緒に歌うことができ、子ども達を

楽しませることに繋がります。実習前になると、実習園で歌われている歌を中心に練習させていただくことができました。その結果、子ども達の前で自信を持ってピアノを弾き、歌うことができました。

この授業を通して学んだことは、間違えることを恐れずに何度でもチャレンジすることが大切であるということです。卒業後もレパトリーを増やし、保育現場で活躍していきたいです。



「保育実践力の向上を 目指して」

保育科 講師

大石 祥寛



小児体育の授業は、幼稚園教諭二種免許取得および卒業のための必修

科目(前期:小児体育Ⅰ、後期:小児体育Ⅱ)です。前期の授業では、子どもの体や運動の発達、運動遊びの効果について学ぶとともに、運動遊びの実践を通して保育構想の重要性の理解を深めていきます。後期は模擬保育を行っており、ここでは3つの目標を掲げています。1つ目は「楽しい」こと。運動が楽しいというだけではなく、言語的・非言語的コミュニケーションが楽しさを演出しているかどうかも重要となります。2つ目は「運動発達を促す」指導。多種多様な動きを体験させるための工夫はとても大切なことです。3つ目は、最優先事項である「安全に」行われることです。

学生は、各々に運動内容や指導の展開を考え、工夫を凝らした模擬保育を実践しています。今日も体育館には笑顔が溢れています。懸命に指導実践に挑戦する学生と、友人が指導する運動を全力で楽しみながらも真剣に学ぼうとする学生の姿があります。

模擬保育で感じたこと

保育科 2年E組

岡戸 望紗



小児体育では、子どもの年齢や発達に合った運動遊びを学ぶだけ

ではなく、実践的な指導方法や学ぶために模擬保育を行います。模擬保育の後には反省会があり、友達から良かった点や改善点をコメントしてもらったことで自分の強みや課題を見つめることができます。また、友達の模擬保育に参加することで、声掛けの仕方や指導の展開を学ぶことができるなど、お互いに

高め合うことができます。私は、模擬保育で「紙皿ひっくり返しゲーム」を行いました。楽しく模擬保育を行うことができましたが、反省会で「場所を広く使った方がぶつからずにゲームができる」との指摘を受け、安全性を考慮していなかったことに気付くことができました。楽しい遊びは、安全が確保されているからこそ成り立つことを実践の中から学ぶことができました。私はこれから保育の道に進みます。これまでに学んだことを生かして子ども達の年齢・発達に合った、安全で楽しい運動遊びを提供していきたいと思えます。



学校法人メノナイト学園 油津恵愛幼稚園

平成28年度卒 保育士
松元 南



私は卒業して日南の認定こども園に就職しました。そこで、四歳

児の担任をさせて頂いています。子ども達はいつも明るく笑いの絶えない毎日です。保護者の方々や目上の方と会話するにあたって大学の建学の精神「礼節・勤労」で学んだ、挨拶や言葉遣いなどがとても役立っています。また、ピアノや制作、手遊びなどの専門知識は、毎日の保育の基礎となり様々な場面で活かされています。天気の良い日には園庭に出て、体操やマラソン、鉄棒、うんていなど毎日行っています。さらに、キリスト教の幼稚園ですので、毎週

礼拝があります。知らないこともたくさんあり勉強することも覚えることもまだまだたくさんありますが、先輩方にも恵まれ充実した日々を過ごしています。大学で学んだ様々なことを生かし、精進していきたいと思えます。



学校法人富高学園 富高幼稚園

平成28年度卒 幼稚園教諭
中丸 真実



私は、幼稚園の先生になるのが夢で、富高学園短期大学に入学し

ました。同じ夢を持つ仲間と過ごした二年間は、とても充実したものでした。現在は、幼稚園教諭として働いています。社会に出て、改めて大学の建学の精神「礼節・勤労」で学んだ社会人としてのマナーや、挨拶、言葉遣いの大切さを感じています。それは子どもだけではなく、保護者の方や、職場の先生方との



信頼関係を築くために、とても活かされています。

幼稚園では、お泊まり保育や運動会、発表会など、沢山の行事があります。一つひとつの行事に一生懸命取り組み、互いに励まし合い助け合う姿や、最後まで諦めずにやり遂げ、共に達成を喜ぶ子ども達の姿にいつも感動を覚えます。日々の保育の中でも、子ども達の成長を目の当たりにし、一緒に喜び合えるこの仕事に、とてもやり甲斐を感じています。

これからも、子ども達と共に、私自身も成長していきたいです。

社会福祉法人 愛育福祉会 児童養護施設みどり学園

平成28年度専攻科修了

中村 文映



実習生の
ような気持ち
で仕事を
始め、右も
左も分から
ないまま9

ヶ月が経ちました。出勤初日、職場に宮崎学園短期大学を卒業

された先輩方が多くいらつしやり、短大の話で盛り上がり、緊張がほぐれた事を覚えています。その際、歴史の深い宮崎学園短期を卒業して本当に良かったなと感じました。夢が叶い、職員や子供達と笑いの絶えない幸せな日々を過ごしていますが、立ち止まってしまいう日も多くあり、そのような日には、学友に相談したり、学生時代のノートや実習日誌を読み返したりし、自分を奮い起こしています。学生時代に学んだ知識、技術、学友との思い出が今の自分の支えとなつています。私にとって宮崎学園短期大学は夢を叶えさせてくれた大切な場所です。感謝の気持ちをもち続け、次は私が子供達の夢を叶えてあげられるよう努力していければと感じています。



第10回 保育フエスティバル

保育科1年F組 後田奈津美



今回はじめて保育フエスティバルに参加してみたい、たくさん親さんと楽しく過

ごす事ができたとおもいます。初めて会う子ども達を前にして私にはとても緊張して、なかなか側に寄ってふれあうことができませんでした。次第に緊張がほぐれ、その後はおもちゃなどで一緒に楽しく遊び、時間が経つのがあつという間でした。子どもたちの表情も来た時とは違って、とても楽しそうな表情に変わっていました。私たちのクラスは0・1歳児を対象とした親子でふれあつて遊ぶという活動をしました。その時にお母さんから離れて泣いてしまう子どももあり、どう対処したらいいか分からない時に2年生の先輩からアドバイスをいただき、その後は楽しく遊びに参加してくれました。また、ボランティア実習でミニコンサートを担当でもあり、今までにたくさんさんの練習をしてきた成果を、出し切ることができたと思います。聞いている親子や学生

保育科2年C組 西田 朱里



私は、2年間保育フエスティバル委員をしました。1年生の時、先輩方の手

伝いをし、見ておくことが多かったのですが、2年生では、指導案を立て、活動に使う道具を作つて、活動を進めていくことをしました。0・1歳児に合った活動を決めるのはとても大変で本やインターネットで調べましました。初回は、緊張もあり進みが早くなってしまい、30分自由時間にあててしまいました。無事終わったことはよかったのですが、自由時間が多すぎたと思います。2回目の保育フエスティバルでは2年生で話し合い、手遊び、絵本を増やすことに決

めましました。笑顔で進みが早くならないよう心がけながら行いました。主活動でも各コーナーに1・2年生を配置し、音が鳴るもので子どもの興味をひいたり声かけをして子どもが楽しく遊べるようにしました。子ども達も楽しく遊んで、いる姿を見て、この活動をやってよかった、大変だったけどフェスティバル委員をしてよかったと思えました。2回の活動でしたが、その年齢に合った活動を考え、どうしたら時間いっぱい楽しく遊んでもらえるか考えることを学ぶことができました。

専攻科（福祉専攻）

田中 朋花



保育フェスティバルには3年間楽しく参加させてもらいました。保育フェ

スティバルでたくさんのお友達と来場され、0・1歳児と2歳児以上児に分かれて楽しいひと時を過ごすことができました。みんな少しずつ準備して練習を積み重ねてきた遊びを笑顔いっぱい楽しんで子ども達の姿を見ると嬉しくて自然と私も笑顔があふれてきました。また、その楽しむ子ども達からの笑顔に救われこれから進む道への

自信にも繋がることができました。0・1歳児とは親子一緒にふれあう活動をして楽しむ子ども、親子で触れ合うことの嬉しさいっぱいの子ども、2歳児以上とは熱心に絵本やパネルシアターを見入っている子ども、ゲームや遊びでおもいっきりはしゃいで楽しむ子ども、様々な子どもの姿を見て可愛さと元気をもらうことができ、もともと子どもが好きになりました。また子どもの楽しさを学びました。また子ども達が楽しそうに遊んでいる姿を見て嬉しそうに見守っている保護者の皆様の姿が印象的でした。



< 取得できる資格・免許 >

- 保育士資格
 - 幼稚園教諭二種免許
 - 社会福祉主事任用資格
 - こども音楽療育士
 - 音楽療法士（2種）
- } いずれか

宮崎県内で2年間で取れるのは
本学だけ!

< 卒業後の主な進路 >

- 保育園
- 幼稚園
- 認定こども園
- 児童福祉施設
- 各種障がい児・者施設
- 児童館
- 専攻科（福祉専攻） など



「自分作り」

現代ビジネス科長

久保 良一



毎年、この『忍ヶ丘』を執筆するときに、まずは思い浮かぶのは学生の成長の姿と学生一人ひとりに向合う先生方の姿であります。入学当初の1年生は新しいステージに立つ喜びと共に、毎日9時過ぎから4時過ぎまで固い椅子に座って不慣れな90分授業に耐えています。しかし、この90分授業にも次第に慣れてきて、今ではこれが当たり前という顔をして講義を受けている姿があります。ところが、当然中だるみも出きたり、欠席したり、居眠りや提出物を出さなかったりする学生も一部が見受けられるようになってきます。そんな学生も先生方の熱心な指導で、次

第に真剣さが現れてきます。それは、2月頃から就職試験の準備をしなければなりません。2年生は真剣に自分の進路と向き合いました。自分の目標を



キャリアガイダンスⅡの授業



達成するために、どうしなければならぬか自問自答を繰り返しながら、高いハードルを乗り越える努力がありました。そして内定という輝かしい二文字を目指しました。勿論、学生一人ひとりの明るい未来を作るために、これに寄り添う先生方の涙ぐましい努力も忘れてはなりません。

今年も学生達は様々な行事に参加しました。オープンキャンパスでは訪れた高校生を案内したり、大学の教育内容を紹介しました。こんなに多くの学生がチューターを希望するのかわと思っくらしいの参加がありました。そこには自分を少しでも成長させようとする学生の真摯な姿を見受けました。

また、実践ビジネス論では「かのうinフェスタ」や「軽トラ市」、「在り方生き方を学ぶための講演」、「企業見学」など学外活動を通して一人ひとりが付加価値をつけるための活動を実践致しました。このように、この1年間は、学生達は自分自身の成長、教員は学生を支援しながら、それぞれが「自分作り」を行いました。そこには学科の目標としてきた「笑顔」が常にありました。これからも学科一同笑顔忘れず、夢に向かって頑張る



オープンキャンパス

いきたいと思います。どうぞ今後とも本学並びに現代ビジネス科にご助言、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度 現代ビジネス科 資格取得状況一覧

※ 平成30年2月1日現在

試験の名称	主催	合格者数	合格率
簿記検定	日本商工会議所	3級 2名	14.3%
簿記能力検定	全国経理教育協会	3級 15名	65.2%
秘書検定	実務技能検定協会	2級 6名 3級 30名	33.3% 63.8%
情報処理技能検定（表計算）	日本情報処理検定協会	1級 4名 準1級 1名 2級 28名 3級 15名	57.1% 100.0% 90.3% 100.0%
日本語ワープロ検定	日本情報処理検定協会	1級 2名 準1級 1名 2級 23名 3級 23名	18.2% 50.0% 69.7% 95.8%
ファイナンシャル・プランニング技能検定	日本ファイナンシャル・プランナーズ協会（日本FP検定）	3級 2名	100.0%
医療保険請求事務実技試験	全国医師会医療秘書学院 連絡協議会	12名	66.7%
日医総研 日医 IT 日レセ操作実務者 ＜認定オペレーター＞	日本医師会総合制作研究 機構	18名	100.0%
医療秘書認定試験	日本医師会	2月4日実施	

※ 合格者については、授業の選択によって人数に差異があります。

現代ビジネス科 ビジネスコース

企業実習での学び

ビジネスコース 一年

結城 里咲



私はこの夏、宮崎銀行と宮崎太陽銀行、アコーディア・ゴルフ

の3企業のインターンシップに参加しました。金融機関はどちらもグループワークがあり、自分の積極性の無さを実感させられました。当初は、銀行という職場に堅苦しいイメージを持っていましたが、応対して頂いた行員の方々から、「大変な事もあるが、楽しい日々を送っている」との話を聴き、気持ちが変わりました。アコーディア・ゴルフでは仕事内容やゴルフについて学ばせてもらい、ゴルフ体験までさせていただきました。初めてゴルフ場で、プロの方の指導を受け、ゴルフ場を運営す

る為の知識やゴルフというスポーツそのものについての楽しさを知る事ができました。短い期間でしたが、自分の未熟さや社会人としての足りない点に気づくことができたので、就職活動までに改善していきたいです。

2年生に向けての抱負

ビジネスコース 一年

小坂 真由



私の二年生に向けての抱負は、資格取得とボランティアです。

資格取得では、できる限り沢山の資格を取得したいと考えています。短大で取得できるのは、情報処理や簿記、秘書など様々ですが、英語に関わる資格にも力を入れていきたいと思っています。なぜなら、グローバル化が進む中、企業が最も必要としているのは英語力ではないかと考えているからです。その為、TOEICや実用英語技能検定に挑戦したいです。資格を取得する為

に、今までよりも家庭学習時間を増やし、隙間時間を有効活用していきたいと思っています。また、ボランティアへの参加も積極的にしていきたいです。前期では、24時間テレビのボランティア活動に参加しました。16時から23時までと大変でしたが、みんなに助けられ、また、自分自身も手助けすることで、協力することの大切さを身にしみて感じました。これからも多くの人と積極的に関わり、自分の役割をしっかりと果たし、地域貢献していきたいです。

図書館実習について

ビジネスコース 二年

紺一向 夏海



夏休みに県立図書館で10日間、図書館実習に参加しました。カウ

ンター業務や書庫整理、レファレンス体験などを通して、座学では学べない多くのことを学ぶことができました。

図書館に関する様々な業務を経験する中で、特にカウンター業務が一番印象に残りました。数多くある館員の仕事の中で、最も利用者と接する機会が多いカウンター業務では、貸出・返却の作業以外にも、返却された本の配架を行ったり書庫の本を探したりすることもありました。書庫は4フロアに分かれており、正確さとスピードが求められるので、想像していたよりも体力が必要な仕事だということを実感しました。図書館に所蔵する本を選定する選書会にも参加しました。所蔵方針や蔵書しているだけでなく、著者とその業界で有名な人なのか、装丁はどのようなものかも選定基準になっていたのです。様々な視点で本を選んでいるということがわかりました。

今回の実習を通して、普段利用者として見ることでできない業務を数多く経験することができました。利用者からは見えないう業務のほうが多く、それらの仕事がかかりとされているからこそ、円滑に業務が行えることがわかりました。今後の講義や実習では、今回の実習で学んだことを胸に留め、取り組んでいきます。

2年間を振り返って

ビジネスコース 二年

長友 玲奈



卒業まで残りわずかとなった今、宮崎学園短期大学での学生生活を振り返ってみると、さまざまな経験と学びで充実した2年間を過ごすことができたと感じています。

学科やコース名に「ビジネス」と付くように、講義では簿記やコンピュータ関係、マネーや販売学など、さまざまな学びを得ることができました。普通高校出身の私は、講義内容の理解や検定試験の難しさに何度も挫けそうになりましたが、先生方やたくさんの友人に助けられ一歩一歩前進できたように思います。

講義の他にも、サークル活動と学生会執行部の活動も意欲的に行いました。サークル活動の陽だまり部では地域ボランティアを中心に活動し、部長となっ

た2年目は部員間交流にも力を入れ、週に1回団欒の時間として雑談やゲームを取り入れました。学生会執行部では、学校運営や行事の企画・運営に全力で取り組むことができました。特に、実行委員長を務めた秋の忍ヶ丘祭は、数えきれないほどの苦難を乗り越えたからこそ、喜びをメンバーで分かち合い、人生の思い出となる良い経験をすることができました。

学外では、アルバイトや地域行事への参加も行いました。人生で初めてとなるアルバイトは、仕事の大変さはもちろん、何よりも学業との両立の大変さを学びました。辞めたいと思ったこともありましたが、苦しい中でも楽しさや面白さを知り、現在でも継続しています。地域行事では、地元のウォーキング大会などに参加し、積極的に地元の方々と繋がる活動を行ってきました。幅広い年齢層の方々と共に活動することで、世代を超えて喜びを分かち合うことの素晴らしさを知ることができました。

さまざまな事を経験した2年間でしたが、これも宮崎学園短期大学の学生だったからこそ経験だったのではないと感じています。このように多くの学友

や教職員・地域の方々との良い出会いがあり、充実していたと心から思います。



卒業生からの
メッセージ

株式会社アメニティー・
エクスプレス

平成28年度卒業ビジネスコース
川崎 優希



会社は私にとつて自分を成長させることのできる場所です。

と考えています。入社してまだ8ヵ月程ですが、上司から責任ある仕事を任せてもらったり、お客様から感謝の言葉を頂いたりすると、やりがいが生まれます。それが自分の成長にも大きく関わっていると感じています。

私は宮崎学園短期大学、現代ビジネス科ビジネスコースを卒業しましたが、短期大学で学んだ礼節、ビジネス応対などは社会

に出てから大変役立っています。学生の頃は深く考えていなかったのですが、実際社会人になつてから、礼節などの大切さに気づくようになりました。また、仕事を始めてから、様々な方と関わるようになり、多くの刺激をいただいています。これから学生の皆さんはたくさん不安を抱え、就職をされると思いますが、それまでにしっかりと学び、また学生時代でしか出来ないことにチャレンジしてください。仕事についていた時、あの時あれをしておけば良かったとならないよう後悔のない学生生活を送ってください。応援しています。



現代ビジネス科 医療事務・医療秘書コース

1年を振り返って

医療事務・医療秘書コース 一年
大久保 美咲



入学して
から1年が
あつという
間に過ぎま
した。医療
事務・医療

秘書コースは医療を中心に勉強をするので最初は初めてのことが多く、慣れていくまでは大変でした。特に医療用語や解剖生理の授業は専門用語が多いので覚えることが大変です。また、私は医療保険請求事務の点数を計算する作業が得意ではないのですが一生懸命取り組んでいます。

2年生では今まで学んだ知識・技能の集大成として医療保険請求事務、日医IT日レ七操作実務者そして日本医師会認定医療秘書を受験するために、日々の学習を大切にしながら頑

張っています。

また、医療機関実習に備えてさまざまな講義・演習などを通して、医療の現場で求められる知識・技能を身につけていきたいと思っています。

2年生になると就職活動が始まりますので、さらに自分自身をスキルアップし、努力していきたいです。

実習での学び

医療事務・医療秘書コース 二年
上田 沙織



私は、新
城眼科医院
で実習をさ
せていただ
きました。

実習Ⅱでは
受付やカルテ入力、会計業務などを経験しました。実習中に感じたのは、自分自身の知識が足りないということでした。特に保険の種類については、事前の準備が足りておらず、実習中に理解できるよう、必死に取り組ましました。

また、職員の方に指導された

「患者さんの立場になって考えること、気持ちを読み取り、引き出せるようになること」は、この実習を通して私の心に強く残った一番の学びです。この言葉の中には、患者様対応についての大切なポイントがあると感じました。このアドバイスをいただけてからは、問診票の確認をする際も聞き漏らしが少なくなりました。

今回実習させていただいた医療機関は診療所ですが、病院と同じ業務、機能があり、スタッフは担当以上の仕事をします。そのことが個人のキャリアアップに繋がっていくのだと知りました。職に就いた後も、学び続けていきたいと思っています。



社会人に向けての抱負

医療事務・医療秘書コース 二年
椎葉 萌衣



私は、医
療を事務職
から支えた
ということこ
とを目標に、
短大の医療

事務・医療秘書コースで専門知識を学びました。私が一番頑張ったことはレセプト作成演習です。最初はなかなか点数が合わず苦戦しましたが、努力を重ね、今ではミスもなく正確にレセプト作成ができるようになりました。また、礼節や秘書関連の科目を通して、一般常識やマナー、接遇を学びました。

2回の医療機関実習では、礼節や秘書関連の知識とレセプト作成に関する医療の知識を併せて活かすことができました。スタッフや患者様への声掛けについて、実習指導者から高い評価をいただいたことは、とても嬉しく思っております。

短大生活で得た知識を活かし、沢山の患者様を笑顔で迎え、何

を求められているのかを考え、困っている方に寄り添えるような医療事務スタッフを目指し頑張ります。
(注釈) レセプト：医療行為を詳しく明記した費用の請求書。診療報酬請求明細書。



卒業生からの メッセージ

医療法人啓仁会 城南病院

平成28年度卒
医療事務・医療秘書コース
中村 綾希子



短大を卒業して、早業して、9ヶ月が経とうとしています。

私は現在、

地元の病院で医療事務として働いています。入職当初は何もかもが初めてのことが多かったのですが、右往左往する日々でしたが、短大で学習したことを生かし、日々精進しています。

私が短大で学んだ中で役に立っているのが、コースの大きな特徴である医療関連の授業です。医療関連の授業は、診療請求で利用するだけではなく、患者様への説明、他部門の職員の方々と連携でも重要になっていきます。日々の業務で課題を見つめ、短大で学んだことを活かしながらなるキャリアアップのためにこれからも努力していきたいです。





専攻科 (福祉専攻)

専攻科 (福祉専攻) 主任

花畑 明美



本学の専攻科(福祉専攻)は、全国の介護福祉士養成校の中でも学生数が多く、建学の精神である「礼節・勤労」を学んだ修了生の活躍には県内外から高い評価を頂いています。今後は本学の修了生があらゆる現場でリーダーとなり、益々活躍してくれると確信しています。なぜならば、本学の専攻科生の場合、保育科・専攻科合わせて3年間で、保育士・幼稚園教諭(二種)・介護福祉士・社会福祉主事任用の4つの資格・免許を取得することができます。そのことが就職においての強みであり、福祉分野をはじめとする幅広い職業選択が可能になります。少子高齢化が加速し、保育所や高齢者施設の複合化など様々な社会の変化にも対応できることから、本学修了生が今後も社会に求められるスーパーバイザーとして活躍してくれることを願っています。

社会福祉法人 日向更生センター
特別養護老人ホーム皇寿園
(平成22年3月専攻科修了)

今門 千賀子



専攻科修了後、介護福祉士として働き8年目になりました。普段は、利用者の生活支援

を中心に、介護リーダー、実習指導等の業務を行っています。『きつい仕事』のイメージが強い介護の仕事ですが、利用者との触れ合いの中に喜びや幸せを感じたり、ご家族からの温かいお言葉や、共に働く仲間たちに支えられ、楽しく毎日を過ごしています。就職してからの多くの経験の中で、自分自身成長させてもらっているなど感じるものが多々あります。なかなか経験できるものではない利用者への看取りでは、最後までその人らしく生き

きるために、利用者や家族の気持ちに寄り添っていくことの大切さや、私たち介護職のスキルの必要性を感じました。日々勉強させられてお



務を行って

独立行政法人 地域医療機能推進機構
宮崎江南病院附属介護老人保健施設
(平成25年3月専攻科修了)

沖野 文香



短大を卒業して、介護福祉士として働き5年目になります。短大では、保育科、専攻科(福祉専攻)で3年間学ばせていただきました。

建学の精神でもある「礼節と勤労」は入所者様やそのご家族との接し方や仕事への取り組み姿勢など現在の仕事でもとても役立っています。毎日入所者様とレクリエーションを行うので、注意点や盛り上げ方、レクリエーションの計画から実施までの流れなど保育科で学んだ内容をもとに取り組み、介護の仕事でも活かしています。また、壁画を職場の雰囲気作りとして取り入れています。専攻科でオムツ交換や食事介助などのケア方法など講義や演習、介護

実習を通して1年間でしたっかり学ぶことができたので、就職してからも活かすことができている。介護の仕事は、毎日同じことの繰り返しなので入所者様の状態も少しずつ変化している。自分の知識と技術を高められるよう、日々勉強しながら頑張っています。少しでも、入所者様や家族様の人生のお手伝いができるよう専門職としての自覚をもち、今後も頑張っていきたいと思っています。

学校法人 宮崎学園幼保連携型認定こども園
宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園
(平成29年3月専攻科修了)

竹尾 礼可



平成29年3月に専攻科(福祉専攻)を修了し、4月から幼保連携型認定こども園宮崎学園短期大学附属清武みどり幼稚園で保育教諭

として働いています。就職して、授業や実習では気づかなかったこと、連絡帳や登園時の保護者との関わり、早番、遅番、クラス担任としての責任等、社会人としての厳しさに多く直面し悩むこともありましたが、周りの先生方や子ども達の笑顔に支えられ、一人ひとりに合った援助・声かけの仕方や日々の活動、保護者との関わり方などを毎日勉強しています。今は、2歳児クラスを受け持っています。

少しずつですが、トイレで排泄することができたり、身の周りのことを進んで行ったりと子ども達の成長が見られ、保護者の方と一緒にその喜びを共感しています。これからは子ども達とたくさん関わり、日々の学びを大切にしながら頑張っていきたいと思っています。



<取得できる資格・免許>

- ・介護福祉士国家試験受験資格

<修了後の主な進路>

- ・特別養護老人ホーム
- ・介護老人保健施設
- ・障害者支援施設
- ・デイサービスセンター
- ・認定こども園
- ・保育所(園)
- ・幼稚園
- ・児童養護施設 など



地域交流研究センター活動報告

センターの活動状況と課題解決型ボランティアの取組

地域交流研究センター委員長

有嶋 誠



宮崎学園
短期大学地
域交流研究
センター委
員長の有嶋
です。今年

度の本センターの取組みと私が担当する課題解決型ボランティアの活動状況を報告します。

地域交流研究センターは、地域との情報交換や交流活動を通して、本学の地域貢献を推進し研究することを目的としています。特に、日本一の短大を目指し「開かれた大学づくり」を合言葉に、本学の教職員や学生が地域社会で貢献活動を行うことによって地域社会

から信頼される短大を目指しています。教職員は専門性を活かし、社会現場のニーズに応じた学習の場を提供しています。学生は自身の主体的・貢献的な活動を推進し自分自身を成長させています。

はじめに、教職員の地域貢献活動としては、市民を対象にした市民講座や保育者を対象とした「保育研修会」を実施しています。市民講座（公開講座）は一般市民を対象にした「シニアいきいきセミナー（2日間）」「ニューライフアカデミー（1日）」と子育て中の親子を対象とした「子育て支援セミナー（2日間）」を実施しています。

「保育研修会」は、7月に県内の保育園や幼稚園等に勤務する保育者を対象に「子どもの音楽遊び（声と唄による表現）」「子どもの音楽遊び（楽器による表現）」を実施し、保育者の指導技術を高めたり、指導の悩みへの相談を受けたりしました。

「シニアいきいきセミナー」は、9月に「清少納言の宮仕えぐら

し（文学）」と「音楽で美しくアンチエイジング（音楽）」を実施しました。2月には、「ニューライフアカデミー」を開催し、健康（レクリエーション）と音楽（合唱の楽しみ）の講座を実施しました。「子育て支援セミナー」は、7月に子育て中の母親と子どもを対象に音楽遊びを行い、多くの親子が音楽による親子のふれあいを楽しみました。

次に、学生の地域貢献活動としては、一般ボランティアの活動とボランティア実習の授業による活動があります。一般ボランティアは、述べ81名（11月22日現在）の学生が県内でボランティア活動を行っています。また、ボランティア実習の授業では「依頼型ボランティア学生」と「課題解決型ボランティア学生」に別れて活動を行いました。

私が担当する「課題解決型ボランティア実習」の授業には20名の学生が在籍しています。20名の学生は大学のある清武町の社会福祉協議会と自分の住んでいる地域の社会福祉協議会を訪問し、県内のボランティア活動の現状と課題を探りました。その後、清武町内で10時間以上、住んでいる地

域で15時間以上のボランティア活動を体験しました。20名の学生は「子ども食堂」「保育園の夏祭り」「幼稚園の運動会」「病院での読み聞かせ」「マラソン大会の補助」など様々なボランティア活動を行っており、清武町や自分の住んでいる地域のボランティアに貢献しています。

地域交流研究センターは、今後とも教職員や学生の地域交流や地域貢献を推進し、日本一の短大を目指していきたいと思えます。





9月5日・12日：教職員による
シニアいきいきセミナーの様子



9月21日・22日：教職員による
子育て支援セミナーの様子



7月28日：学生による養護老人ホーム清流園
ふれあい夏祭りボランティアの様子



7月16日：教職員による保育研修会の様子

一般ボランティアの 活動状況と参加学生 の体験感想

地域交流研究センター委員

湯川 洋久
黒木 典子

本学の一般ボランティア活動は県内の高齢者医療・保健・福祉施設、障がい児・者福祉施設、幼稚園・児童福祉施設、地域イベントなどからのボランティア募集のご案内をいただいたものについて、学生が応募し参加しています。

参加した学生からは、「ボランティアに行つてとても喜ばれた。」「優しく接していただいて活動が楽しかった。」「と明るい表情で報告を受けます。今年度の積極的に活動した専攻科（福祉専攻）の学生の感想をご紹介します。

一般ボランティアに 参加して

専攻科

黒木 翔太



私はボランティアを通して日頃とは違った利用者さんや職員さんの

の姿を見る事ができたと思いません。ボランティアはお祭りのお手伝いに行く事が多いですが、そこでは普段にもまして優しい笑顔を家族に向けている利用者さんの様子や、職員さんの動きを見ることが出来ます。そこから多くの学びや気づきがあり自分の力とする事が出来ます。そしてこれは保育園や幼稚園へのボランティアでも言える事ではないかと思えます。ボランティアの魅力はいつもと違った雰囲気や学べ、より自分のスキルアップができる所ではないかと思えます。

平成29年度 宮崎学園短期大学市民講座



シニアいきいきセミナー

生涯学習推進委員会

委員長

花畑

明美



平成29年度宮崎学園短期大学市民講座の一環で、シニアいきいきセミナーが、平成29年9月5

日、12日の2回開催されました。第1回は原田真理教授による、「清少納言の宮仕えぐらし」をテーマに、中流貴族の妻から、超一流貴族の侍女について学び、その後、枕草子を読み文学に親しみました。参加者からは、現代社会では中々古典文学に触れることがないので興味深く平安時代の女性の生き方や、清少納言の人



となり、考え方が分かって面白かった。また、学生時代に返った気分です。楽しく受講できた等の感想をいただきました。

第2回では、三宅浩子教授と後藤祐子准教授により、「音楽で美しく美しくアンチエイジング」のテーマで、音楽に合わせて体を動かしたり、世界の楽器も交えた音あそびを行いました。受講生は終始笑顔が絶えず、宮崎初公開の大人のリトミックを楽しみました。また、音楽に関する講座は毎年開催して欲しい等の感想をいただきました。今後も、様々なテーマの市民講座を企画し地域貢献していきたいと思えます。



子育て支援セミナー

生涯学習推進委員会

三宅

浩子



宮崎学園短期大学子育て支援セミナーが、平成29年9月21日(木)、22日(金)の2日間開催さ

れ、今年は55組のご家族にご来場いただきました。ありがとうございました。

このセミナーは、毎年3歳未満の子どもさんと保護者を対象に行っています。子どもは、まだまだ一人あそびや大人に遊んでもらうことが楽しい年齢です。ママも一日中子どもさんの相手をしていきたくてはならず、お疲れのことも多いと思います。そんなママたちにホッとして頂いたり、参加者同士で、たくさんお話して頂いたりすることを目的としています。保育を専門とする本学の教員が、子育てに関する相談を受けたり、ママたちの交流をファシリテートしたりしています。そして、音楽の教員と学生が、「嬉しい、楽しい」遊びに子どもたちを誘います。子どもたちが、自分の好きなように遊んだり、表現したりできるようにプログラムをたくさん用意しました。

この日のために、学生が練習してきたパネルシアターも大人気、子どもたちはつぎつぎに変身するひよこちゃんに釘付けでした。学生にとっても、大変貴重な学びの場となりました。

参加者の皆様からは、「バルーンにとびつくようにハイハイする娘を見て、こんな一面があるんだと新たなことが分かり楽しかった。また参加したいと思った。学生さんとのふれあいも楽しかった。」「たくさんのママさんと交流できたり、普段遊べないおもちゃや、遊び方を教えて頂いてよかったです。」など多くのコメントを寄せていただきました。子どもたちの姿を見る保護者の皆様も笑顔いっぱいでした。

今後も、皆様に喜んでいただける企画で、子どもたちと子育て家族を応援していきたいと思えます。



ニユーライフ・アカデミー

生涯学習推進委員会

委員長 花畑 明美

毎年恒例になっている本学の市民講座が今年も平成30年2月14日(水)と2月21日(水)の2回開催されました。第1回目は、本学非常勤講師の末平浩康前教授(音楽科)による「音楽の魅力」(歌う楽しさ伝わる力)という内容で、

朝の第一声からご参加頂きました。皆様方の日頃からのレッスンの成果が表れた素敵な「早春譜」、大変素晴らしい歌声でした。また、末平前教授の楽しいトークもあり、笑顔あふれるあつという間の時間でした。

第2回目は、本学保育科の大石祥寛講師による「元気が出る体操(愉快!爽快!)」という内容で、精力的に身体を動かして頂きました。関節や筋肉の動きをしっかりと感じながら、様々な体操や運動を実践されているようでした。時に笑いあり、時に真剣な姿ありの時間となり、終わった後の皆様の晴れやかな表情はとても印象的でした。

それぞれの講座終了後のアンケートにも「ぜひ次年度も計画をお願いします」と多くの声をいただきました。ご参加いただきました皆様、講師の先生方、お忙しい中本当にありがとうございました。



平成29年度 宮崎学園短期大学 保育研修会

保育研修会担当

中武 亮子

平成29年度「宮崎学園短期大学 保育研修会」も9年目となりました。7月16日(日)に開催しましたが、今年も多くの先生方に参加いただき、有意義な時間を過ごすことができたと感じしております。先生方にも「音や音楽の遊び」をテーマにさまざまな声や楽器の音を出すこと、音を聞きながら動くこと、音楽と共にイメージして描くことなど、五感を通して幼児の音楽遊びを体験いただく中で、音や音楽が心身に与える影響について実感いただけたのではないのでしょうか。

音や音楽の遊びは聴覚だけでなく、触覚、視覚、嗅覚を使い、時には味覚にも影響を与えます。また、音や音楽による身体の動きは心の動きも伴い、乳幼児の生活には欠かせないものです。これらのことを授業で学んだ卒業生の方も受講いただき、改めてご自身の現場で活用したいと言っていたきました。担当として今後も研鑽を重ね、音や音楽での出会いを重ねたいと強く感じた1日でした。



声のワーク。初めは絵譜を見ながら声を出しますが、最後にはメンバーとコミュニケーションをとりながら声を出し、作品が出来上がりました。



リズムムーブメント。様々な音や音楽を聞きながら身体も心も動く楽しい体験です。



音楽とオーガージーによるリラクゼーション。学生たちもお手伝いをしながら現場の先生方と交流させていただき、充実した時間になりました。



音絵。様々な楽器の音やCDの音楽を聞いて身体が動くままに、クレヨンや絵の具で描いていき、各グループみんな違った作品が出来上がりました。

教員免許状更新講習

教務部長

原田 真理

平成二十一年四月から、教員免許更新制が導入されました。宮崎学園短期大学では、幼稚園教諭の教員免許状を持って仕事をされる方を対象として、教員免許状更新講習を実施しています。本学で実施しているのは、必修領域六時間、選択必修領域六時間、選択領域六時間×2の計二十四時間分です。免許状更新に必要な三十時間の講習には、本学の講習だけでは不足しますのでご注意ください。講義後の試験に合格された方には、履修証明書を発行いたします。免許状更新のためには、本学外の講習を含む三十時間分の履修証明書をもちて県の教育委員会に申請をする必要があります。手続きを完了しなければ免許状は更新されませんので、ご注意ください。更新講習の対象となるのは現職もしくは勤務予定があり、定められた年齢に該当する方々です。年齢等詳しい内容

については、文部科学省のホームページをごらんください。なお、免許状を持つておられても勤務する予定のない方は、免許状の更新をする必要はありません。

本学の講習には、毎年定員をはるかに超えるお申込みをいただいております。日ごろお世話になっておられる皆さまに本学が応えていく機会として、精一杯努力しているのですが、現状では限界があり受講数を制限させていたいただいているのが実情です。幼稚園教諭の免許状更新講習の受講機会を増やす根本的な対策を県にも要望しておりますが、なかなか進まないようです。先生方のご希望にそえないことを申し訳なく思っております。

二十九年度の更新講習は、八月二十二日から二十四日までの四日間でした。初日の必修領域のテーマは「幼児理解の諸問題」、二日目の選択必修領域のテーマは「幼児教育の最新動向」で、それぞれテーマに即した複数の講義がありました。三日目からは実技をまじえた授業で、「音や音楽を使った表現活動」と「幼児の造形表現」でした。まる一日の講義の後で試験

という過酷な日程ですが、熱心に取り組まれるお姿を拝見し、講習を準備する側としての責任の重さを感じました。

三十年度の講習については、現在計画中です。詳細が決まり次第、本学ホームページに掲載いたします。日程は、例年通り八月下旬を予定しています。他の時期の開催や複数回の講習実施等のご要望もいただいておりますが、本学では八月中旬まで前期試験があり、授業や試験期間中の講習開催は講師と会場両面から困難です。なにとぞご理解くださいますようお願いいたします。



保育士資格取得特例講座

宮崎学園短期大学では、厚生労働省の「幼稚園教諭免許状を有する者における保育士資格取得特例」に基づき、平成二十六年から保育士資格取得特例講座を実施しています。この特例は平成三十一年度までですので、該当される方でまだ利用されていない方は受講されることをお勧めします。この制度の対象となるのは、一定の実務経験のある幼稚園教諭免許状保有者の方です。詳しくは、厚生労働省ホームページでご確認ください。

特例制度による特例教科目は、四科目八単位です。宮崎学園短期大学では、年に二科目目の講座を実施、二年間で四科目全部の講座を受講できるように設定しました。土曜日を終日使用しての授業で、科目によって四日間と八日間の場合があります。平成二十九年度までに、四科目目の講座開催を二回終了しました。三十年度から三十一年度にかけての二年間が、特例制度による本学の保育士資格取得特例講座受講の最後の機会となります。

今年度の講座は、「乳児保育」が五月二十七日から九月三十日までの八日間、「相談支援」が十月十四日から十一月二十五日までの四日間でした。今年度は全員が二科目を続けて受講されたこともあり、クラスメイトとしての絆も生まれたようです。授業では講師の先生方も驚くほどの熱心さで、議論の際には経験をふまえて非常に活発な意見交換が行われたそうです。受講された方々からは、現場ですぐに役立つ内容だった、楽しく学びながら深く考えることができた等の声をいただきました。来年度は、「福祉と養護」「保健と食と栄養」の二科目を予定しております。どちらか一科目の受講も可能ですが、受講希望者が五名に満たない場合は開設しないことがあります。日程等詳細については、決まり次第本学ホームページに掲載いたします。

短大生活

365日

Campus Life at Miyazaki Gakuen Junior College



学
友
会
活
動

学生会活動

月	日	行事内容	活動内容
4	4	オリエンテーションリハーサル	学生会テーマ・年間行事・予算・サークルの決定と報告 オリエンテーションでの役割分担と発表練習
	5	2年生オリエンテーション	各担当がパワーポイントで作成・報告のリハーサル
	5	入学式係り打合せ・準備	スケジュールの確認とリハーサル 会場のシート・机・椅子の設営作業
	7	入学式	会長が在学生代表として挨拶
	10 20	春の忍ヶ丘祭の計画と準備	競技内容・ルール・役割分担・外部関係者（写真・音響）との打合せ 会場設営（レンタル用品）
	21	春の忍ヶ丘祭前日準備	会場設営・テント設営・実行委員会前日打合せ
	22	春の忍ヶ丘祭	司会・運営・実況放送・用具準備・挨拶等の全ての運営
25	春の忍ヶ丘祭の反省会	成果と課題を整理	
6	3~	えれこっちゃん祭り参加者の募集	宮崎市えれこっちゃん祭りの昨年度の記録写真等を掲示板に掲示し参加者を募集
		えれこっちゃん祭りの踊り練習	体育館を借用し踊りの練習 ※学生会役員が踊りの指導
7	9	第1回オープンキャンパス	抽選会や会場案内などの手伝い
	26	夏季オリエンテーション	会長と秋忍委員長が秋の忍ヶ丘祭の内容を学生に周知
	29	えれこっちゃん祭り参加	40名以上の学生と教職員が祭りに参加
8	6	第2回オープンキャンパス	抽選会や会場案内などの手伝い
		秋の忍ヶ丘祭の準備	夏季休業中に準備会議を実施（タイムスケジュール・模擬店の決定・ステージ発表者の決定等） レンタル業者・音響業者・ガス会社・印刷会社等との打合せ 当日の役割分担 等
10	10	教職員・学生連絡協議会	学生の要望を学校側に伝達・学生生活全般についての協議
	21	秋の忍ヶ丘祭	学生会役員が役割分担に応じて運営
12	5	学生会役員選挙（告示）	役員選挙の公示と立候補者選出掲示
	22	学生会新役員の決定者の掲示	学生会新役員6名の氏名等の公表
1	23	教職員・学生連絡協議会	学生の要望を学校側に伝達・学生生活全般についての協議授業ルールの説明
3	18	卒業式・謝恩会の準備	謝恩会会場との打合せ 謝恩会実行委員との協議 謝恩会企画・運営の準備 謝恩会案内の掲示 役割分担等
		19	卒業式・謝恩会

2017.4.22
春の忍ヶ丘祭



2017.10.21
秋の忍ヶ丘祭



「宮短フォト575」に

挑戦

保育科 講師

倉岡 豊実

宮短フォト575とは、写真と17(575)文字、双方が互いに響き合い、生み出す不思議な世界、新感覚のアート作品のことです。写真では表現しにくい「写真の心」と575では表現しにくい「575の情景」を補完しあい、広がりのある味わい深い世界が展開します。作品は、「ユーモア溢れる作品」「芸術的な作品」「ほのぼのとした作品」「切れ味鋭い作品」等になり心が動き癒されます。

宮崎学園短期大学では新館ラウンジに「作成コーナー」を設置し、学生も教職員もいつでも誰でも挑戦できるようにしています。優秀作品BEST20は掲示され、大賞と優秀賞の該当者には、学長先生から直接賞状と景品を受け取ることが出来ます。投稿数も第1回447点第2回は672点と増加し、作品も表現力が豊かになってきているので、本学の特徴ある活動になりつつあります。第1・2回の大賞と優秀賞作品を紹介します。



【大賞】 保育科 1年 田中 南
「無理だから UFO 呼ぶとか 無理だから」
【優秀賞】 保育科 2年 森田明日香
「今いびつ 卒業するとき 一等星」



【大賞】 保育科 2年 小玉七夏海
「楽しさは あっという間に 消えていく」
【優秀賞】 保育科 1年 丸山 彩花
「カキゴオリ 一気早食い コオリゴリ」



【大賞】 保育科 2年 中村 千隼
「海越えて 山を越えると 日南よ」
【優秀賞】 保育科 2年 信國 百理
「透き通る 雲を眺めて 深呼吸」



【大賞】 保育科 1年 上野 和希
「来年は 園児と一緒に じゃんけんポン」
【優秀賞】 保育科 2年 白岩 唯
「君となら あいこの方が 嬉しいの」



【大賞】 保育科 1年 斉藤明日香
「クルルンと まつ毛が長くて うらやましい」
【優秀賞】 保育科 1年 中村明日香
「赤いのは 貴方に見つけて 欲しいから」



【大賞】 保育科 2年 和田紗也加
「私はね 夢の切符を 買いました」
【優秀賞】 保育科 1年 岩切まりな
「あのバスに 乗れば保育士 になれるかな」

サークル活動

文芸・漫画研究会

部長 矢野 玲奈

私達は文芸・漫画研究会です。普段は好きな漫画やアニメについて語ったり、お題を決めて絵を描いたり、楽しく活動しています。主な活動は、秋の忍ヶ丘祭で販売する部誌の作成です。今年さらには、ポストカードの作成と販売も行いました。個人の作品の提出に加え、部員と協力して、印刷・製本を行う為、大変ではありますが、完成した作品を見て達成感を味わうことができます。



興味のある方は、ぜひ一度覗いてみてください。

陽だまり部

部長 長友 玲奈

陽だまり部は、1年生9名、2年生5名で活動しています。

地域行事やボランティアへの参加を中心に活動しており、

平日は部員間交流として雑談やトランプなどのゲームを楽しんでいます。



今年度は、24時間テレビの募金・集計ボランティア、えれこつちやみやざきでの市民総踊り、青島太平洋マラソンでのボランティアなどを行いました。先輩方から受け継いだ、活動を通して生まれる部員の結びつきや地域への貢献を大切にして活動するサークルです。

ヨガサークル

部長 巽 翔大

瘦せたい…そんな恋する乙女の叫びから発足させた個性豊かな先輩方の後をつなぎ、今年も個性豊かな部員とともにのんびり活動しています。

風の音、雨の音、虫の声…自然な音を聴きながら、ゆったりとした音楽を聴きながらヨガを

楽しみます。部員の笑顔や苦痛に耐える顔、日々進歩する部員…そんな様子を「Twitter」でも絶賛発信中です。

レッスン中には、ヨガ講師植田先生と部員とのイングリッシュ・トークが飛び交い、ヨガだけでなく、英語も学べます。また、おいしいスイーツも…。



「ヨガ」とはサンスクリット語で「つながり」を意味しています。たくさんの人に、ヨガを通して、自分自身と自分の身体とのつながり感じてほしい。

合唱サークル

部長 矢田 高

私たちは、合唱経験者を中心に、合唱を楽しみたい初心者の学生も集まってできたサークルです。二年生のメンバーはおらず一年生ですが日々音の響きを楽しみなが活動しています。いま取り組んでいる曲は、

「鷗」という曲で、なぜこの曲に取り組んでいるかというところがとても美しいからです。少し難しいですがとてもやりがいのある曲です。

私たちはまだまだ合唱をするには人数が多いとは言えませんが、これからはどんどん人を増やしてたくさんの人と一緒に合唱を楽しめるようにしていきたいです。

YSPサークル

部長 河野 豊輝

YSPサークルです。私たちYSPサークルは毎週水曜日の午後5時から8時まで体育館でバレーやバスケットボールなど様々なスポーツをしています。男女とも仲が良く、常にわきあいとした雰囲気です。毎回ギリギリまで時間を忘れて楽しく活動しています。今後、益々先輩たちがサークル活動を盛り上げてくれることを祈っています。



新教職員紹介

「故郷・宮崎で頑張ります」



三宅 浩子
保育科

私は、2017年3月に前任教である札幌国際大学を退職し、4月より本学にお世話になっています。専門は音楽教育・療育と発達支援です。

『みんなちがって、みんないい』美しいこのフレーズは誰もの心を揺さぶりますが、保育や教育の場での実現は、想いだけでは叶いません。障がいの有無や家庭環境、文化の違いに関わらず、子どもたちの多様性が認められ、一人ひとりが大切にされる保育・教育が当たり前となるまでには、時間がかかりそうです。しかし研究は随分進んできています。インクルーシブを目指して、制度も動き始めました。研究・教育・現場を繋ぎ、新しい時代が求める保育者養成を、本学で実現したいと思います。学生とその向こうにいる子どもたちと家族のために、故郷宮崎で頑張れる幸せを感じています。

「思いを繋いで」



黒木 典子
保育科

本学の保育科を卒業して、みどり幼稚園に入職、現在保育科で低年齢児保育を担当しています。

先日、1年生の基本実習で訪問したみどり幼稚園、今は新しく保育園が併設されていますが、入職した時に建て替えられた園舎は懐かしい様相そのままに子どもたちを育んでいました。興味津々の子どもたちは「どこからきたの?」「おねえちゃんのせんせい?」「おばあちゃんせんせい?」「そうそう、おばあちゃんせんせいだよ。」と月日の流れをすんなりと受け止めさせてくれました。(1年目に受け持った4歳児さんが今は45歳になつていのですから...) これまで本学で学んだ卒業生がそれぞれの立場で社会に貢献されています。そしてその思いが受け継がれて人が育つ、そのことの素晴らしさを本学図書館前の初代理事長大坪資秀先生の銅像を見上げながら感じている毎日です。

「夢実現を支援します」



矢田憲太郎
保育科

平成29年4月より保育科の准教授として勤めています矢田憲太郎です。35年間宮崎県の県立高校で勤めておりました。本学は特に幼児教育に携わる人材育成実績が高く評価され、地域や保護者、高校等からの信頼の厚い短期大学であり、その一員として教壇に立つことができ大変うれしく感じております。

日々、授業や実習で接する学生諸君も保育士・幼稚園教諭になるといふ確かな目標と志を持った学生が多く、心強く感じると共にしっかりととした学びを与える責任を感じながらの1年でした。これからも様々な発想や感性を持った学生一人ひとりの良さや個性を伸ばし、学生の夢実現のために温かい支援をしていきたいと思っております。

「皆様と学生の成長への感謝」



湯川 洋久
保育科

着任してはや半年以上。にも関わらず私の事務処理の粗雑さに嘆きつつまた学生の気質の違いに未だ戸惑いつつ毎日おつかなびつくり過ごしています。それでも本学の皆様の寛容さと我慢のお陰で何とか過ごさせて頂いております。本当に感謝と恐縮の毎日です。

学生に接していると、1年生の最初は高校生感覚が抜けていなかったのが、みるみるうちに成長していかにも保育士さんやビジネスパーソンの雰囲気身をつけていくのに驚いています。2年生も後半になると、いい社会人になっていくだろうなあと暖かい気持ちで見守る事も多く、これは教育者の醍醐味だなあと感じます。

礼節と勤労。簡潔な言葉なのに奥深く、探求し続ける価値のある言葉です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

「自己実現を応援します」



園田 和江
保育科

平成29年4月から保育科の講師を務めている園田和江です。本学では、1年生の「障害児保育Ⅰ」「2年生の「相談援助」「保育相談支援」「保育・教育実践演習」の科目を担当しております。専門は社会福祉学で、福祉の視点から子どもから高齢者までを研究対象としています。

また、保育科1年B・2クラス18名の学級主任で、学生が自分の目指す保育者像を見つけ、それに向かって一人ひとりが意欲的に取り組めるようにサポートをしております。学生自身それぞれの良さを生かし、自信を持って子どもたちの前に立てる保育者になって欲しいと願っています。



「情熱的に生きて欲しい」



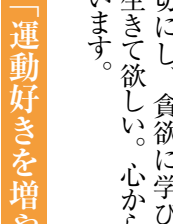
桑迫 信子
専攻科

4月から専攻科に勤務しています。どうぞよろしくお願致します。私は、「子どもの保健」や「日常生活支援技術」などの科目を担当しておりますが、本学の学生さんたちは本当に人が好き、お世話することが大好きなんだと心温まることが多くあります。演習では特に目が輝き、経験談を話すとき真剣に聞き入る姿があります。こちらが感動します。

これまで病院や看護専門学校などで勤務し、さまざまな方の人生や看取りという尊く厳かな場面に接してきました。人は自分が弱った時に初めて大切なものを自覚し、粗末してきたことを省みたり、感謝したりします。更には、命の尊さと、家族の大切さに気づくものです。それは、果てしなく続く人間の成長だと学びました。

学内でははじけるような学生の笑顔を見ると、これからの人生を想い眩しささえ感じます。躍動感のある生命力ほど、素晴らし

「運動好きを増やしたい」



大石 祥寛
保育科

平成29年4月から保育科の講師として勤務し、「小児体育Ⅰ・Ⅱ」と「健康」関連の授業を担当しています。私は幼少期から運動することが好きで、今でも週に1、2回は身体を動かして汗を流しています。晴れた休日のランニングはとても気持ちが良い、その後の食事はいつも以上に美味しく感じます。

私の専門領域は「体育方法学」です。今は「朝の運動と効果」に着目して研究を進めています。本学では、子どもが「楽しい」「嬉しい」「やればできる！」と感じる運動遊び、子どもの運動技能の発達を促す運動遊びを学生の皆さんと共に考え実践しています。「運動が大好き」という子どもが増えることを願い、教育・研究活動を続け

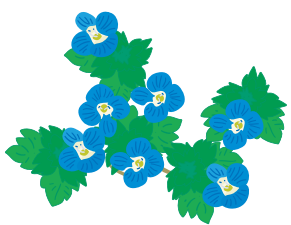
「よろしくお願ひします」



柿木 大和
現代ビジネス科

平成29年度4月より現代ビジネス科で講師を務めている柿木大和と申します。本学では、プレゼンテーション演習ⅠⅡ、情報処理概論Ⅰ、ビジネス入門、リサーチ入門などを担当しています。またビジネスコース2年生の学級主任をしてきました。その中で、学生が夢の実現に向けて、努力する姿に感動するとともに、支援・指導に熱が入った1年間でした。

来年からの実践ビジネス演習において、さらに学生が地域と連携した取り組みが行えるように力をいれていきたいです。



「様々な視点を」



野口 翔平
現代ビジネス科

平成29年度4月より現代ビジネス科でお世話になって野口翔平と申します。私の担当科目は、企業簿記、情報処理概論Ⅰ、秘書学概論等で、医療事務・医療秘書コース1年の担任をしています。

私は大学院時代から簿記・会計の歴史を専門として研究を続けてきました。特にイギリスの産業革命期の資産評価に関する研究を行っています。そのため、現在の視点から見ただけでなく、歴史という視点から物事を見ることの重要性を学生に伝え、学生には多くの考え方や物の見方を教えていきたいと考えています。よろしく願います。



「よろしく願います」



湯地 寿
総務課

平成二十九年四月一日から事務局長補佐に勤務しております。湯地と申します。

宮崎女子高等学校（現宮崎学園高等学校）から社会人の第一歩がスタートし、内部異動を何度も繰り返しながら、今回、二回目の短期大学勤務になりました。数年ぶりの短大は、新校舎が完成し、教職員も入れ替わりがあるなど変容し、新鮮な気持ちで仕事をさせていただいています。

学生便覧に記載されている事務局総務課の業務は、証明書発行、学費納入に関すること、施設の維持管理・借用手続等となっております。主な業務はそれらとなっておりますが、分からない事があればまず総務課に問い合わせてもらえればほとんど解決するのではないかと思います。

皆さんが夢に向かって勉学に励む学習環境を整え、もっとよくするため努力していこうと考えています。どうぞよろしくお

「一期一会」



波江野祥代
総務課

平成29年4月から総務課に異動になりました波江野祥代です。どうぞよろしく願います。

短大の前は、お隣の宮崎国際大学の学生教職支援センターに勤務していました。その前は、宮崎学園中学校と高校で、理科の教員をしていました。

私は、「学校」が大好きです。学校は、そこで学んでいる生徒や学生の皆さんの夢をかなえるお手伝いができる場だと思います。

総務課の仕事内容は、学生さんとのコミュニケーションの機会が少ないですが、朝の登校中のあいさつやオープンキャンパス等の活動を通じて、パワーをもらっています。

宮崎学園の建学の精神である「礼節」・「勤労」の歴史の重みを日々感じながら、伝統ある本学で働くことができ嬉しく思います。

未熟者ではありますが、宮崎学園に貢献できるよう努力を重ね、邁進していきたいと思えます。新しい出会いに感謝です。

「心を大事にする実習指導室」



森崎麻衣子
教務課

保育科実習指導係を担当します。本館2Fに実習指導室が新設しました。まだまだ若輩者ですが、心を豊かにする実習指導室を目指します。実習において「相手の立場になって考える」これはとても大切なことだと思います。そしてこのことは、人としても大切なことだと思います。実習では1日1日が大きな学びとなります。今していることが合っているのか、間違えているのか：葛藤しながら職務に就くこともあります。1日仕事を終えたとほっとすると同時にその日の反省をし、次へ繋がります。失敗し落ち込んで立ち上がる心が必要です。一人を抱え込む必要はありません。人に頼り、人を助けましょう。一緒に素晴らしい保育者になりましょう。皆様の気持ちに寄り添いサポートします。どうぞ、よろしく願います。

平成29年度 就職状況中間報告

就職指導課 (平成30年2月27日現在)

業種	保育科	現代ビジネス科	専攻科	合計
建設業		1		1
製造業		5		5
情報通信業				
運輸業		1		1
卸売・小売業		5		5
金融・保険業				
不動産業		1		1
宿泊・飲食業		3		3
生活関連サービス業	1	1		2
教育・学習支援業 (幼稚園)	41	1	8	50
医療・福祉 (保育園)	117	15	27	159
複合サービス事業		4		4
公務員	3			3
専攻科	25			25
他進	2			2
合計	189	37	35	261

業種別就職内定者数

平成29年度卒業生就職先一覧

平成30年2月27日現在

建設業 (1名)

吉田建設産業株式会社

製造業 (5名)

アグリセンター都城、高嶺木材、ラピスセミコンダクタ宮崎、都城酒造、日伸洗車機

不動産業 (1名)

ピースホーム

卸売・小売業 (5名)

コメリ、日産サテオ宮崎、ヨネザワ、スズキ自販宮崎、昭和ゴムサービス

宿泊・飲食業 (3名)

フェニックスリゾート、宮崎観光ホテル、虎コーポレーション

運輸業 (1名)

ニッポンレンタカー九州

複合サービス (4名)

宮崎県信用農業協同組合連合会、延岡農業協同組合、小林農業協同組合、エンクロス

生活関連サービス業 (2名)

ワークステーション、竹内ダンススクール

医療 (16名)

善仁会、宮元整形外科、松永歯科クリニック、協和病院、和田病院、若草病院、谷山歯科医院、宮崎生協病院、まつばし川野整形外科、たんぼぼ薬局、平和台病院、森山内科、脳神経外科、宮田眼科、くわばら医院、宮崎ホームケアクリニック

公務員 (3名)

宮崎市役所、諸塚村役場、西米良村役場

幼稚園 (50名)

清武みどり幼稚園、立正幼稚園、西都あいこ幼稚園、天竜学園、平和が丘幼稚園、アリスこどもの家幼稚園、木花幼稚園、ししのこ幼稚園、ひかり幼稚園、高鍋カトリック聖母幼稚園、光ヶ丘幼稚園、アソカ幼稚園、東幼稚園、いずみ幼稚園、みくに幼稚園、ふたば幼稚園、小林カトリック幼稚園、宮崎至慶幼稚園、生目幼稚園、広瀬共栄幼稚園、日南飡肥カトリック幼稚園、成華幼稚園、野の花幼稚園、あさひ幼稚園、南宮崎カトリック幼稚園、都農聖愛幼稚園、ひろせ幼稚園、あおしま幼稚園、油津恵愛幼稚園、栄ヶ丘幼稚園、清涼幼稚園、富高学園、日向南こども園、大塚あけぼの幼稚園、太陽の子幼稚園、大崎幼稚園、くすの木幼稚園

保育園 (127名)

あさひ保育園、社会福祉法人

真光会、風光るゆめの森、川東さくらんぼ保育園、古城保育園、宮崎福祉会、おひさま保育園、南方保育園、あゆみ保育園、わかば保育園、和保育園、昭和認定こども園、橘保育園、大塚台保育園、さつき保育園、認定こども園大塚、一ツ葉保育園、鏡洲保育園、鳴峰保育園、双葉保育所、八幡保育園、めぐみ保育園、天神保育所、志和地さくらんぼ保育園、のぞみ保育園(宮崎市)、さくらんぼ保育園、こぼと保育園、清水保育園、大宮保育園、すずらん保育園、三股中央保育園、友愛保育園、たちばな保育園、かわなか保育園、こぼとキンダーガーデン、まるのキンダーガーデン、早水保育園、ふたば保育園、認定こども園こどもの家、まんがつか認定こども園、こすもす保育園、高洲保育園、那珂こども園、下長飯保育園、相愛保育園、田代保育学園、高岡中央保育園、つくしんぼ保育園、希望ヶ丘保育園、えびの福祉会、伊勢ヶ浜保育園、吉野保育園、旭保育園、憶保育園、ひなたほいくえん、加納ひまわり幼保育園、飛江田保育園、山崎保育園、美々津保育園、のぞみ保育園(新富町)、みつばち乳児保育園、岩崎保育園、浮ノ城ひまわり保育園、日知屋保育園、天ヶ城保育園、みのり保育園、イングリッシュ幼児園、ひので保育園、清武福祉会、小林乳児保育園、宮崎みなど保育園、国富こすもす保育園、いすず保育園、中央こども保育園、穂北保育園、わかすぎ保育園、さくら之内保育園、稚児ヶ池保育園、岩脇保育園、かたひら認定こども園、みやこのじょう児童学園、くどみ児友園、しゃらこども園、雲母保育園、柏原保育園、安楽保育園、新宮つばみ保育園、さくらさく保育園、こころ福祉会、ふたば認定こども園、こぐまの森保育

園、社会福祉法人夢工房、ピュア・テンプ、秋葉保育園、花の木保育園、たんばぼ保育園、あい・あい保育園

福祉施設 (16名)

宮崎県社会福祉事業団、寿幸園、まりあ、皇寿園、さくら苑、永寿園、ひむか苑、しらふじ、わかば、都北学園、フジの会、愛生会、ウエルハウス尼崎

進学 (1名)

宮崎医療福祉専門学校(看護)

内部進学 (26名)

宮崎学園短期大学 専攻科(福祉専攻) 25名
科目等履修生 1名

平成29年度 オープンキャンパス報告

オープンキャンパス検討委員会
委員長 東 真美子

オープンキャンパスは、高校生やその保護者、本学に興味をお持ちの社会人の方々に本学の魅力を伝えることができる絶好の機会です。また、こちらから魅力を発信するだけではなく、本学への進学や受験等に関する質問や心配に対して、個別相談という形で応じる企画もあり、本学への信頼を高めていただける機会でもあります。

今年も、来場してくださる方々に満足していただけるよう、オープンキャンパス検討委員会を中心に、年度当初から協議を重ねてまいりました。そして、準備から当日まで教職員総出で協力し、夏に二回、春に一回の開催をいたしました。係を担ってくれた学生も各企画の準備や当日の活動を精力的にこなし、いずれの開催も大変素晴らしいものとなりました。ここでは、その一つとして夏のオープンキャンパスについて報告いたします。

します。

今年、平成二十八年に完成した新館を来場者に存分に体感していただけるよう、オープンキャンパスを新館にて行いました。七月に行った第一回目は、大変多くの方々にご来場いただき、準備していた大教室が満員になるほどの盛況ぶりでした。どの来場者もオープンキャンパスでの学長や卒業生の話に熱心に耳を傾けてくださっていました。

オープンキャンパスでは、保育科の「音楽系」、「食育系」、「心理学・哲学系」、「図工系」のミニ講座や、現代ビジネス科の二つのコース（ビジネスコース・医療事務医療秘書コース）の学生を主体とした企画を体験していただき、各学科の特色を存分に知っていただくことができました。そして、学食体験では初対面の生徒さん同士も和やかに笑顔を交しながら食事をしている姿がありました。その光景をみながら、この生徒さんたちが入学をしてくれて、今度本学の学生として一緒に高校生を迎え入れてくれることを期待していました。オープンキャンパスにおける本学学生の活躍は、本当に頼もしい限りです。

八月に行った第二回目は、台風により延期になったため、お盆と重なる日程でした。その中においても多くの方が予定を調整して来てくださって、百名を超える来場者をお迎えすることができました。来場者数としては昨年度に及ばなかったものの、来場者アンケートには良いご意見が多く記入されており、本学の魅力はしっかりと伝わったことを実感しました。来年度も県内外の皆様にも本学の良さをアピールできるオープンキャンパスにしていきたいと思っています。

平成30年度 夏のオープンキャンパスのご案内

	日時
第1回	平成30年7月 8日(日)
第2回	平成30年7月29日(日)



学食体験



現代ビジネス科 ビジネス実践力



保育科 わくわくここにこ食育遊び

平成31年度 入試日程

インタビュー入試						
エントリーシート提出締切日	試験日	登録書発送	出願期間	合格発表	入学手続締切	
第一回	平成30年 7月10日(火) 12時必着	平成30年 7月14日(土)	平成30年 9月末	平成30年 10月 9日(火) ～ 10月18日(木) 12時必着	平成30年 11月1日(木) 12時発送	平成30年 11月15日(木) 12時必着
第二回	平成30年 8月9日(木) 12時必着	平成30年 8月18日(土)				
第三回	平成30年 9月11日(火) 12時必着	平成30年 9月15日(土)				

入試区分	推薦入試 指定校推薦入試 社会人入試(一期)	一般入試(一期) 社会人入試(二期) 外国人留学生入試 帰国子女入試	大学入試センター 試験利用入試(一期)	一般入試(二期) 社会人入試(三期)	大学入試センター 試験利用入試(二期)
出願期間	平成30年 10月25日(木) ～ 11月 6日(火) 12時必着	平成31年 1月 9日(水) ～ 1月25日(金) 12時必着	平成31年 1月 9日(水) ～ 1月25日(金) 12時必着	平成31年 3月 4日(月) ～ 3月18日(月) 12時必着	平成31年 3月 4日(月) ～ 3月18日(月) 12時必着
試験日	11月13日(火)	2月 1日(金)		3月22日(金)	
合格発表	11月26日(月) 12時発送	2月13日(水) 12時発送	2月13日(水) 12時発送	3月25日(月) 15時電話連絡後発送	3月25日(月) 15時電話連絡後発送
入学手続 締 切	12月10日(月) 12時必着	2月26日(火) 12時必着	2月26日(火) 12時必着	3月29日(金) 12時必着	3月29日(金) 12時必着

専攻科(福祉専攻)入試					
入試区分	一期	二期	三期	四期	五期
出願期間	平成30年 5月 7日(月) ～ 5月15日(火) 12時必着	平成30年 7月 3日(火) ～ 7月11日(水) 12時必着	平成30年 10月 1日(月) ～ 10月11日(木) 12時必着	平成31年 1月 9日(水) ～ 1月25日(金) 12時必着	平成31年 3月 4日(月) ～ 3月18日(月) 12時必着
試験日	5月19日(土)	7月14日(土)	10月13日(土)	2月 1日(金)	3月22日(金)
合格発表	5月30日(水) 12時発送	7月25日(水) 12時発送	10月24日(水) 12時発送	2月13日(水) 12時発送	3月25日(月) 15時電話連絡後発送
入学手続 締 切	6月 8日(金) 12時必着	8月 2日(木) 12時必着	11月 1日(木) 12時必着	2月26日(火) 12時必着	3月29日(金) 12時必着

平成30年度 入試相談会

各地の入試相談会にお越しく下さい。

6月に県内8会場で開催予定。

●宮崎(2会場)、延岡、日向、高鍋、都城、小林、日南

詳細は決定次第本学ホームページでお知らせいたします。



しのぶ会だより

総会員 19,263 名 (平成30年2月現在)



「美人坂」への登り口

『美人坂』の思い出

平成二十九年十二月八日
(金)のNHKテレビ「にっぽん縦断こころ旅」において、仙台市在住の卒業生、村脇佐知さんの宮崎女子短期大学・宮崎学園短期大学の『美人坂』の思い出のお手紙が全国に紹介されました。ご覧になった方もおられると思います。

清武駅から新町橋を渡り、歯科医院を通り短大に向かって登る坂のことを本学関係者は、『美人坂』と呼んでおり、この名称は、昭和四十年の第一回生から現在まで五十数年に渡り受け継がれています。「美人の女学生が沢山上り下りするから…。」

「坂の上り下りで健康的な美人になるから…」等々諸説ありますが、真相はいかに。

以前は多くの学生が電車通学で清武駅を利用していましたが、今は、自動車通学の学生も増え、また清武駅からはスクールバスを運行しているの
で『美人坂』を上り下りする

学生は減少しています。坂の途中からグランド方面の『心臓破りの坂』を登って中野神社へと上がるコースもあります。

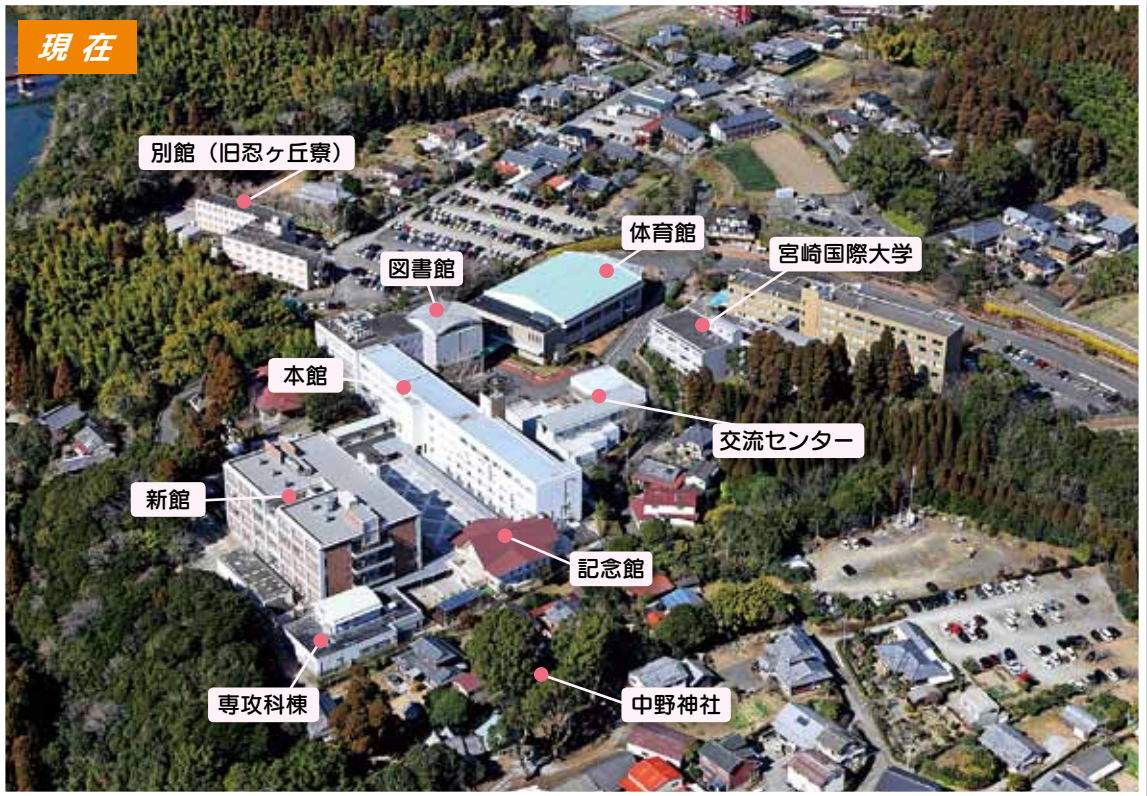
昭和の頃、新町橋を渡り、歯科医院の手前にお店がありました。その店と歯科医院の間の道を入ると、杉山の中に道があるコースがあったのをご存じの卒業生もおられるのでは…。今はもうジャングルです。

今回、卒業生からのお手紙の放映により、改めて『美人坂』の思い出を再確認することができました。

皆さんにとって『美人坂』の思い出はどのようなものでしょうか。



現在



空から見た
歴史の移り変わり



同窓会から



昭和四十七年三月
保育科A組卒業

代表者 出水(旧姓小川) 和子

平成二十九年七月十五日
(土) 十六人参加で同窓会を開催しました。

卒業して四十五年。初めて参加した二人は、この会場に来るまで不安でいっぱいだったそうです。でも、卒業アルバムを見ながらあの頃の乙女にすぐ戻り、旧姓で名前を呼び合い、楽しい会話に時間があっという間に過ぎていきました。

近況報告では、孫の話、ボランテニア参加、自分磨きで勉強中等々。出席者のオカリナ演奏の音色にうっとり酔いしれ、心身ともに洗われたようでした。また、山口先生の講義でいつも披露されていた「ギンギンキラキラ夕日が沈む…」を先生を思い出しながら、みんなで振り付けしながら歌いました。

参加者の感想
色々と準備していただき有難うございました。皆さんの近況を聞いたり理して楽しい時間を過ごせました。
初めて同窓会に出席し、とて

も楽しい時間を過ごすことができませんでした。皆さんの話を聞き、あの若かりし頃の思い出がよみがえってきました。また会える日を楽しみにしています。

今日の楽しい時間を有難うございました。今だからこそゆとりが少しずつできて、もっと楽しみたい私です。茶道に取組み勉強中であれこれと忙しい毎日です。

相撲は土俵際、人生は老後が面白いとか。
これからも楽しいことを見つけていきます。今日は皆に会えて楽しかったです。
四十五年前のクラスメートと語らう時があることを倅に思います。これからも続いていきますように！

去年も七月に同窓会を開きましたが、一年はアツという間に過ぎてしまいました。
日頃の生活の話も聞けてとても楽しい時間を過ごすことができました。来年会えるのが楽しみです。

皆さんお疲れ様です。もう！楽しいです。今度の会にも出席できるよう元気に過ごそうと思います。

保育科出身の皆さんに何年かぶりにお会いして、それぞれ活躍され素晴らしい、とて

も懐かしかったです。



平成十六年三月
保育科B組卒業

代表者 青木(旧姓青井) 美香

懐かしい時間、すてきな時間になり、最高の仲間などと改めて実感しました。

みんなからパワーをもらえた楽しいひと時でした。みんなに会えて嬉しかったです。
(長友尚美)

話して、笑って、時間が戻ったみたいでとても楽しい時間とおいしい料理でした。
(大西愛美)

ちゃっかりお子様を預けて、
(日高保美)

大人だけの楽しい時間が過ぎました。
出会って十五年。学生時代を思い出す日となり、また会える日が楽しみです。
(仲道里子)

みんな、話し方・仕草は当時のまま。本当に楽しい一日になりました。
久しぶりの再会と楽しい時間がこれからの仕事や毎日の生活への活力になりました。
(矢野千夏)

十五年経ってもみんな全然変わらな、あの頃に戻ったようでした。
久しぶりにみんなと会え、楽しい時間を過ごせるのを心待ちにしています。
(青井美香)
(北郷留奈)
(小林恭子)



・みんなでワイワイ楽しい時間を過ごせ、また集まれるのが楽しみです。(門丸純子)

・みんなでワイワイしていた頃を久しぶりに思い出して、楽しい時間を過ごせました。(今村陽子)

・卒業してまたみんなと再会できて、とても楽しい時間でした。また集まりたいです。(小園恵美)

・皆、あの頃と変わらない笑顔で懐かしかったです。楽しい時間をありがとうございました。(益留さおり)

・久しぶりに会うのに一瞬で当時の感覚に戻り、話に花が咲きました。(串間裕美)

・学生時代を思い出して、タイムマシンで戻った気持ちで楽しい時間でした。(松尾友香理)

・久しぶりの同窓会とても楽しかったです。次を楽しみにしています。(前田有加里)

・楽しい時間はあつという間でしたが、先生もみんなも元氣そうでした。(木下朝子)

・仕事と子育てに追われる毎日の中、タイムスリップしたような感覚でした。(谷口智美)

・あの頃とは違う話もたくさんできて、良い刺激になりました。(林悦子)

・7年ぶりの同窓会！久しぶりに会った友達との話に花が咲きました。(山下咲野香)

・卒業して初めてみんなと会い短大の頃に戻ったように楽しい時間でした。(大隈麻未)

・歳は重ねたけど、あの頃のままでの皆。こんなに集まったのもBクラスだったからだと思います。楽しい夜でした。(高岡紗江)

・懐かしい旧友の姿に会えて、幸せなひとときを過ごすことができました。(見山先生、同窓生と久しぶりに会うことができ、とても嬉しく楽しい時間を過ごせました。次回を楽しみに待っています。)

・三年に一度ということで今回三回目。県外なのでこの機会に故郷に帰れ、元気をチャージでき嬉しかったです。

・初めて同窓会に参加させて頂きました。久しぶり…三十三年ぶり…見山先生や友達に会えてとても嬉しかったです。皆とてもすてきでキラキラ輝いていました。

・保育科A組。見山先生や皆に会えたことは私の一生の宝物です。一瞬にして学生時代に戻り、とても懐かしかったです。元氣でまた会いましょう。

・おいしいご飯や友達の顔、楽しいおしゃべりで、あつという間の時間を過ごすことができました。先生のパワーをいただきました。

・三年ぶりにまた皆さんの顔が見られて、楽しい時間でした。今日は初めての出席でしたが、楽しく参加できました。

・久しぶりに宮崎に帰るきっかけになりました。

・三年ぶりに先生や皆の元氣な顔が見られて私も元氣をもらいました。楽しかったです。

・とても楽しい時間を有難うございました。私も見山先生やクラスメートの元氣をいただきました。三年後の再会を楽しみにしています。

■昭和五十九年三月
保育科A組卒業
代表者 井上(旧姓浜砂) なつみ
内山(旧姓岡元) みゆき

八月十九日(土) 昭和五十九年三月卒業、保育Aの第三回同窓会を見山靖代先生をお迎えして開催しました。当日は十四人の元女学生が県内外から集い、楽しいひと時を過ごしました。

・懐かしい顔と近況報告で楽しい時間を過ごすことができました。先生の元氣な姿に幸せな気持ちになりました。先生のオペラ、是非見てみたいです。

・久しぶりに参加でき、嬉しく思います皆さんのお話を聞いて勉強になります。見山先生お元氣で良かったです。次回も参加したいです。



・懐かしい旧友の姿に会えて、幸せなひとときを過ごすことができました。

・見山先生、同窓生と久しぶりに会うことができ、とても嬉しく楽しい時間を過ごせました。次回を楽しみに待っています。

・三年に一度ということで今回三回目。県外なのでこの機会に故郷に帰れ、元気をチャージでき嬉しかったです。

・初めて同窓会に参加させて頂きました。久しぶり…三十三年ぶり…見山先生や友達に会えてとても嬉しかったです。皆とてもすてきでキラキラ輝いていました。

・保育科A組。見山先生や皆に

■昭和五十七年三月

保育科D組卒業
代表者 大迫(旧姓深水) 泰子

短大を卒業して十年目に発足した同窓会も、今年で十六回目の開催となりました。

何と、卒業から三十五年もの月日が過ぎていました。同窓会の開催も二年に一度から「そろ

同窓会から

そろり年齢も増える毎に色々忙しいけど、会いたいときに合わなきゃ。「参加できるときに参加しなきゃ。」「毎年あれば参



加できるかも。」の声で毎年開催に変更して六年目となりました。毎回参加して頂いている矢口先生をはじめ、県内の遠方からも参加してくれる友があり、今回は十五人が集合。幹事としては感謝感謝のひと言です。年に一度の再会でも話は尽きぬもので、今回も自分のことは勿論、家族の近況を話し聞き、最後のゲームで盛り上がり、とても楽しくアツという間の時間でした。矢口先生の話も毎回熱がこも

元気に来ていただけることに本当に有難く思いました。また来年の再会を約束しお開きとしました。

昭和四十七年三月

保育科C組卒業

代表者 松本(旧姓松本) 和子

あつ膝が痛い…。腰も…。字が見えん…。老眼鏡はどこ?…で始まる同窓会の案内に、担任だった田村先生(旧姓小川)をはじめ二十人が集まりました。ランチの同窓会です。お昼だったら出席できる人いるかもと思っていたら、予想以上の集まりでした。数十年ぶりの再会の人もお



り、懐かしさと楽しさでいっぱいだった。短大時代は人生の中の二年間という短い期間でしたが、とても濃い時間だったように思います。(学費を出してくれた親に感謝です。)あの二年間を一緒に過ごしたみんなの話をひとり一人聞き、これからも前向きに、ポジティブに生きていきたいものだと思いました。

ところで住所の分からない人がいます。私のことだなと思う人は住所を身近な人にでも教えてください。ぜひ会いましょう。

昭和四十八年三月

初等教育科卒業

代表者 高倉(旧姓津田) 智子

平成二十九年六月十日、宮崎観光ホテルにおいて、大坪昭裕先生の卒寿のお祝いと、私たちの六十五歳同窓会が行われました。会の前に、大坪先生と十人で大学を訪問しました。今回初めて同窓会に参加するため沖縄から来た池間さんと熊本の私は、皆より一足早く清武町に着きました。町は大きくなっていて、懐かしい駅も、清武役場も、実習に行った保育園も、アルバイトをした城山病院も、友達が住んでいたアパートも立派な建物

になっていました。寂しさを感じながら二人で散策しました。でも、清武川に架かる清滝橋を渡ると懐かしい風景が出てきて、弾む思いで大学までの坂道を駆け登りました。心はそのつもりでもゆつくり登りました。



大学に着くと大きな新校舎が聳え立っていて、素晴らしい学園へと変貌を遂げていました。イチョウの木は同じ場所、昔のように木陰を作っていましたので、木の下で一休みさせてもらいました。

大坪先生と仲間達が来るまで、図書館や国際交流センターや記念館を見学しました。男女共学になって楽しく語り

合っている学生さん達や、オープンキャンパスのポスターを見て過ごし、時の流れを感じました。

イチヨウの前に全員集合。

四十五年ぶりに会う大坪先生と友人達で、握手したり、ハグし合ったり、ほのぼのとした雰囲気の見学でした。宗和学長先生のご案内で、四階建ての新校舎と明教庵を見せて頂きました。

新校舎の設備の整った各教室、広々としたラウンジ、大きな窓から見える学園の景色にため息混じりの声を出したほどです。

屋上にも登らせてもらい、清武の町や宮崎市、遠く霧島連山も一望できました。明教庵では、正座をして、礼法の授業の思い出話に花が咲きました。床の間に掛けられたお軸・『美在心』が心に止まりました。おばちゃんパワーに圧倒されて、時々お見せになる吹き出し笑いの宗和学長先生、お疲れ様でした。二年前に編集された創立五十周年記念誌をお土産に頂きました。記念誌が一冊足りなくて探してくださった女先生と気さくでハンサムな宗和学長先生に感謝しながら大学を後にしました。

宮崎観光ホテルには、大坪昭裕先生と級友十八人が集まりました。大坪先生の九十歳卒寿のお祝いです。河野さんが花束贈呈、吉留さんのお祝いの言葉、

先生からのお礼の挨拶がありました。その中で、奥様の介護が大変なことや、奥様が倒れられ、抱えようとして腰を圧迫骨折なさって、現在も治療中であること等をお話しになりました。大坪先生はいつも聡明で九十歳とは思えないほどお元気でいらつしやるので無理をさせてしまったのではないかと、配慮が足りなかったことを反省しています。大学訪問では校舎を一緒に歩いたり、屋上までの階段を登ったりされて、大丈夫だったでしょうか。

第二部の六十五歳同窓会です。吉留さんの司会進行で始まりました。沖縄の池間さんが乾杯の音頭を取りました。徳留さんがホテルと交渉してくれました。宴会の中で一人ずつ卒業してからのことなど報告し合いました。仕事のこと、家族のこと、健康のこと、趣味や学習のことなど発表しました。皆それぞれ難難辛苦を生きてきたという自信と誇りを持っていきます。これこそ、宮崎女子短期大学で学んだ「礼節・勤労」の精神と思えました。短大の二年間で多くのことを学ばせて頂きました。友と互いに磨き合い、学び合い、高め合って、身に付けたことが、今までの人生を心豊かに生きてこれたと思

います。一人ひとりを大切に指導くださいました大坪昭裕先生をはじめ諸先生方に感謝申し上げます。

今回は七十歳で開く予定でしたが、大坪先生の提案で六十八歳で開くことになりました。明教庵の掛け軸『美在心』を肝に銘じ、日々精進して、六十八歳を迎えようと思います。

今回の同窓会で再会を喜び合え、友情を深め合えたことを心

から嬉しく思いました。最後にになりましたが、大坪昭裕先生のご健康とご多幸を、大学の限りないご発展をお祈り申し上げます。



旧 明教庵



新 明教庵

お知らせ



日本学生支援機構からのお願い

平成二十九年三月卒業生の方で日本学生支援機構の奨学生であった方は、十月から奨学金の返還が始まっています。

「あなたの返還金は口座からきちんと引き落とされていますか。」「口座振替の手続きを行っていないため支払いが滞っていないようなことはありませんか。」もう一度ご確認ください。万一返還が困難な場合は、今すぐ日本学生支援機構の相談窓口にご電話してください。

《日本学生支援機構相談窓口》

電話番号 0570-666-301

<http://www.jasso.go.jp/shogakukin/henkan>

保育士登録は済んでいますか？

児童福祉法の改正により、平成十五年十一月二十九日から保育士の定義が変わりました。児童福祉法改正前は、保育士（保育）資格証明書を持っていれば、保育士として働くことができました。しかし、改正後は、保育士となる資格を証明する書類（保育士（保育）資格証明書、指定保育士養成施設卒業証明書、保育士試験合格証明書等）だけを持つていても、「保育士」として働くことができなくなりました。

「保育士」として働くには、その業務に就く前に、都道府県知事に対して登録申請手続きを行い、保育士証の交付を受けて初めて、保育士として働くことができます。平成十五年三月以前の卒業生は各自で登録申請を行わなければなりません。保育士登録はもうお済でしょうか。

詳しくは、「都道府県知事委託保育士登録機関 登録事務処理センター」のHPで確認してください。
なお、特例制度の対象者等については、厚生労働省のホームページでご確認ください。

保育士等再就職支援・求人情報案内について

短大ホームページから就職情報が閲覧できます。

保育士資格を持つている方で、出産や育児等ではばらく現場を離れている方、又は保育士・介護福祉士等「福祉の仕事」への就職を考えている方。

宮崎県ではそういった方々への再就職を支援する事業として、福祉関係の求人を一括閲覧できるウェブサイトを立ち上げています。同窓会しのお会でも卒業生の方々への再就職について、積極的に支援したいと考えております。

このウェブサイト（宮崎県社会福祉人材センター）へは、宮崎学園短期大学ホームページ「卒業生の方へ」からも閲覧できます。ご利用ください。

短大のホームページ URL：<http://www.nwjc.ac.jp/>



クラス会への援助金について

同窓会しのぶ会では、卒業後も会員の皆様の交流の場としてクラス会を開催していただき、同窓会活動が盛り上がることを願い、クラス会援助金制度を設けております。

クラス会を開催された場合は、是非援助金の申請をしていただきますようご案内いたします。申請の条件は、

- ① 十名以上の参加者
 - ② 感想文（原稿用紙二枚程度）
 - ③ 参加者全員の氏名・住所・電話番号等
 - ④ クラス会当時の集合写真
 - ⑤ クラス会の領収書（二万円以上）
 - ⑥ 代表者の連絡先
 - ⑦ 援助金の受け取り方法
- を添えてしのぶ会事務局へ申請してください。なお、申請時にお寄せいただいた感想文・写真は、本機関誌「忍ヶ丘」の「同窓会から」のコーナーへ掲載させていただきますのでご協力・ご理解ください。



しのぶ会連絡先

〒889-1605

宮崎市清武町加納内1415番地

宮崎学園短期大学同窓会 しのぶ会事務局

TEL 0985(85)0146

FAX 0985(85)0101

ご利用ください!

- * この用紙は、宮崎学園短期大学（宮崎女子短期大学）卒業生用証明書申込用紙です。
- * 証明書が必要な場合は、この用紙をご利用ください。
- * 証明書申込みの際、現住所等に移動があった場合は、しのぶ会事務局にて住所等を変更しますので、異動通知を出す必要はありません。

- ※ 各項目は、必ずご記入ください。記入・押印漏れのある場合は、発送ができませんのでお気を付けください。
- ※ 学籍番号につきましては、不明の場合記入する必要はありません。
- ※ 内容確認をおこなう場合がありますので、必ず連絡できる住所・電話番号をご記入ください。

証明書申込用紙

証明書名	枚数	証明書名	枚数
卒業証明書		保育士資格証明書	
成績証明書		司書講習終了証明書	
学力に関する証明書			
*証明書1枚につき300円		金額合計	円
卒業年	昭和・平成	年	月
卒業月		年	月
卒業日		年	月
卒業コース	科	組	コース
学籍番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		
生年月日	昭和・平成	年	月
現氏名		日生	
(旧姓))		(印)
現住所	〒 - -		
電話番号	()	-	

(希望送付郵便 普通・速達)

証明書申込用紙

証明書名	枚数	証明書名	枚数
卒業証明書		保育士資格証明書	
成績証明書		司書講習終了証明書	
学力に関する証明書			
*証明書1枚につき300円		金額合計	円
卒業年	昭和・平成	年	月
卒業月		年	月
卒業日		年	月
卒業コース	科	組	コース
学籍番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		
生年月日	昭和・平成	年	月
現氏名		日生	
(旧姓))		(印)
現住所	〒 - -		
電話番号	()	-	

(希望送付郵便 普通・速達)

注 意 事 項

- * 証明書料金は、1枚につき300円です。返信用送料とともに切手か郵便為替に換えて封書にて郵送してください。
- * 証明書は、期日に余裕を持ってお申込みください。
- * 証明書申込先住所・返信用送料明細は、申込用紙裏面記載のとおりです。
- * お寄せいただいた個人情報に関しましては、目的以外には使用しません。

*** 注意事項をよく読み証明書申込用紙
に必要事項を記入して封書にてお申
込みください。**

証明書申込先

〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415

宮崎学園短期大学 証明 係

TEL 0985-85-0146

返信用送料明細

証明書3枚まで普通郵便料 120円

速達郵便希望の場合 プラス280円

* 送料の過不足が出た場合は、証明書送付時に
通知します。

通 信 欄

*** 注意事項をよく読み証明書申込用紙
に必要事項を記入して封書にてお申
込みください。**

証明書申込先

〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415

宮崎学園短期大学 証明 係

TEL 0985-85-0146

返信用送料明細

証明書3枚まで普通郵便料 120円

速達郵便希望の場合 プラス280円

* 送料の過不足が出た場合は、証明書送付時に
通知します。

通 信 欄

異動通知は必ず出してください！

会員の皆様方の身上に異動が生じた時には、必ずこの葉書をお出してください。
また、お寄せいただいた個人情報につきましては、同窓会しのぶ会運営の目的以外には使用しません。

※今後あなたの住所・電話番号・勤務先等に変更等があった場合、また結婚して改姓・転居される場合には、ご面倒でもこの葉書を利用してご連絡ください。
※同窓会の旧職員・先輩・後輩を問わず住所不明の方の消息や住所等をご存知でしたらぜひお知らせください。
※占線にそって切りとり、ご使用ください。

異動通知連絡カード

※どちらか〇で囲む 平成 年 月 日 報告

①本人の訂正・異動通知	掲載頁	年版
②知人(本人以外)の訂正・異動通知	頁	行目
※②の場合 連絡者名	卒年	昭和・平成
	学科	科 組

卒年	昭和・平成	科	組	(不明者 [※])
フリガナ	Ⓢ	旧姓	Ⓝ	
氏名	()	()	()	
〒				
現住所				
		市外局番 ()	市内局番 ()	番号
勤務先		市外局番 ()	市内局番 ()	番号
確認事項	同窓会しのぶ会からの発送に関して 希望する ・ 希望しない			

宮崎県内在住者は県名を省略。
自営の方は社名・店名を記入

注意 「1丁目2番3号」は「1-2-3」のように記入

異動通知連絡カード

※どちらか〇で囲む 平成 年 月 日 報告

①本人の訂正・異動通知	掲載頁	年版
②知人(本人以外)の訂正・異動通知	頁	行目
※②の場合 連絡者名	卒年	昭和・平成
	学科	科 組

卒年	昭和・平成	科	組	(不明者 [※])
フリガナ	Ⓢ	旧姓	Ⓝ	
氏名	()	()	()	
〒				
現住所				
		市外局番 ()	市内局番 ()	番号
勤務先		市外局番 ()	市内局番 ()	番号
確認事項	同窓会しのぶ会からの発送に関して 希望する ・ 希望しない			

宮崎県内在住者は県名を省略。
自営の方は社名・店名を記入

注意 「1丁目2番3号」は「1-2-3」のように記入

郵便はがき

8 8 9 1 6 0 5

宮崎市清武町加納丙一四一五
宮崎学園短期大学内

宮崎学園短期大学同窓会

しのぶ会 行

62円切手
をはって
ください

通信欄

郵便はがき

8 8 9 1 6 0 5

宮崎市清武町加納丙一四一五
宮崎学園短期大学内

宮崎学園短期大学同窓会

しのぶ会 行

62円切手
をはって
ください

通信欄

宮崎学園短期大学校歌

狩野 満 作詞

石田良男 作曲



mf
う る わ し や き り し ま や ま を み は る か し か ー ぜ ー わ た
ゆ か し き や し ら く も と お く き ゆ る は て な ー ん ー ご く

cresc. *f* *rit.* *mf*
る し の ぶ が お か ー に ま な び や た て り わ れ ら が ぼ こ う つ
の し お さ い き き ー て ま な び や た て り わ れ ら が ぼ こ う と

a tempo
ど い き て き ょ う こ そ ま な ー べ わ か き わ れ ら の ゆ め は は る
き う つ り わ か れ ゆ く と ー も わ か き わ れ ら の む ね に う た

1. 2.
け し ゆ は む あ あ わ れ ら が ぼ こ う わ れ ら が ぼ こ う

忍ヶ丘 第10号

【編集委員】 ウォーカー祐貴子 花畑明美 倉岡豊実
戸敷早苗 東真美子 柿木大和 吉井真也
しのぶ会事務局

【発行日】 平成30年3月19日

【発行所】 宮崎学園短期大学
宮崎学園短期大学内 しのぶ会事務局
〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415
TEL. (0985)85-0146

【印刷所】 SISビジョン 株式会社



宮崎学園短期大学
Miyazaki Gakuen Junior College